

岩沼市国民健康保険 第3期特定健康診査・特定保健指導実施計画



岩沼市マスコットキャラクター「岩沼係長」

平成30年3月
岩沼市

第1章	計画策定にあたって	
	1. 計画策定の趣旨	3
	2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ	3
	3. 計画期間	4
第2章	現状と課題把握	
	1. 岩沼市の概況	5
	(1) 基本情報	5
	(2) 高齢化率	6
	(3) 世帯数と一世帯当たり人員	7
	(4) 計画期間の人口推移	8
	2. 保険者の特性把握	10
	(1) 被保険者数の推移	10
	(2) 一人当たり医療費の推移	12
	(3) 医療費等の状況	13
	(4) 介護保険の状況	14
	① 要介護高齢者等	14
	② 介護保険サービス受給率	15
	③ 健康寿命・平均寿命	16
	(5) 主たる死因の状況	18
	3. 医療情報分析結果	19
	(1) 基礎統計	19
	(2) 高額レセプトの件数及び医療費	20
	① 高額レセプトの件数及び割合	20
	② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	22
	(3) 疾病別医療費	23
	① 大分類による疾病別医療費統計	23
	② 中分類による疾病別医療費統計	24
	4. 生活習慣病に係る医療費	29
第3章	特定健康診査の実施状況	
	1. 特定健康診査の受診率	32
	2. 特定健康診査結果分析	34
	(1) 有所見者割合	34
	(2) 質問別回答状況	37
	(3) 特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況	40
	(4) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	41
	3. 特定健康診査実施状況に基づく課題と対策	42
第4章	特定保健指導の実施状況	
	1. 特定保健指導の実施率	43
	(1) 特定保健指導階層化と特定保健指導参加者状況	44
	(2) 特定保健指導参加の有無でみた階層化の変化	45

	2. 特定保健指導の効果分析	48
	3. 特定保健指導対象者の分析	49
	(1) 保健指導レベル該当状況	49
	(2) 特定保健指導リスク因子別該当状況	52
	(3) 特定保健指導対象者と非対象者の医療費の比較	54
	4. 特定保健指導実施状況に基づく課題と対策	55
第5章	事業の実施内容と評価方法	
	1. 特定健康診査	56
	(1) 特定健康診査受診率向上事業	56
	2. 特定保健指導	57
	(1) 特定保健指導利用率向上事業	57
第6章	その他	
	1. 個人情報の保護	58
	(1) 個人情報保護関係規定の遵守	58
	(2) データの管理	58
	2. 特定健康診査等実施計画の公表及び周知	58
	3. 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し	58
	(1) 評価	58
	(2) 計画の見直し	58
	4. 事業運営上の留意事項	58
	(1) 各種検(健)診等との連携	58
	(2) 健康づくり事業との連携	58
巻末資料		
	1. 用語解説集	59
	2. 疾病分類表	61

第1章 計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨

近年、急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など、大きな環境変化に直面し、医療制度を今後も持続していくための構造改革が急務となっている。

このような状況に対応するため、健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にもつながることから、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することとし、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号。以下「法」という。)に基づき、被保険者に対し生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施することとされた。

岩沼市国民健康保険においては、法第19条に基づき平成20年～24年度を計画期間とする第1期特定健康診査・特定保健指導実施計画、平成25年～29年度を計画期間とする第2期特定健康診査・特定保健指導実施計画を策定し特定健康診査及び特定保健指導を実施してきた。このたび、前期計画の計画期間満了に伴い、平成30年度を初年度とする第3期特定健康診査・特定保健指導実施計画（以下、「第3期特定健康診査等実施計画」という。）を策定する。

2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ

法第18条を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」、「市町村健康増進計画」及び「岩沼市国民健康保険第2期データヘルス計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画との整合性を図る必要がある。

3. 計画期間

第1期特定健康診査・特定保健指導実施計画及び第2期特定健康診査・特定保健指導実施計画は5年を一期としていたが、医療費適正化計画が6年一期に見直されたことを踏まえ、第3期特定健康診査等実施計画からは6年を一期として策定する(特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)より)。なお、計画期間は平成30年度から平成35年度とする。

■データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ
平成26年度～平成28年度(3年分)

- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)

- ・ 健康診査データ
単年分析
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

第2章 現状と課題把握

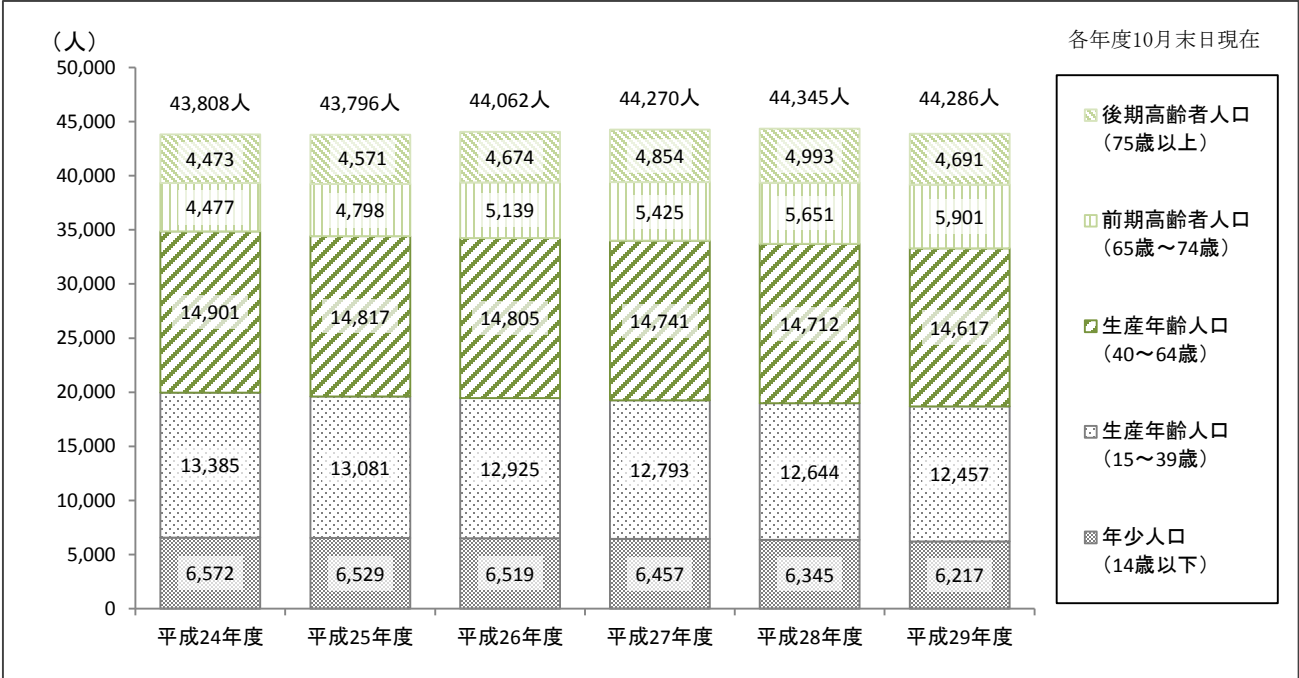
1. 岩沼市の概況

(1) 基本情報

市の人口の動きを見ると、平成24年度から平成25年度にかけて総人口は減少しているが、平成26年度には増加に転じ、以降、横ばいで推移している。平成29年10月末現在の人口は44,286人、世帯数は17,522世帯となっている。

年齢構成をみると、生産年齢人口の15～39歳の減少が大きく、平成24年度から平成28年度の間で741人の減少となっている。一方、高齢者人口は増加しており、特に75歳未満の前期高齢者人口が増加している。

【人口の推移】



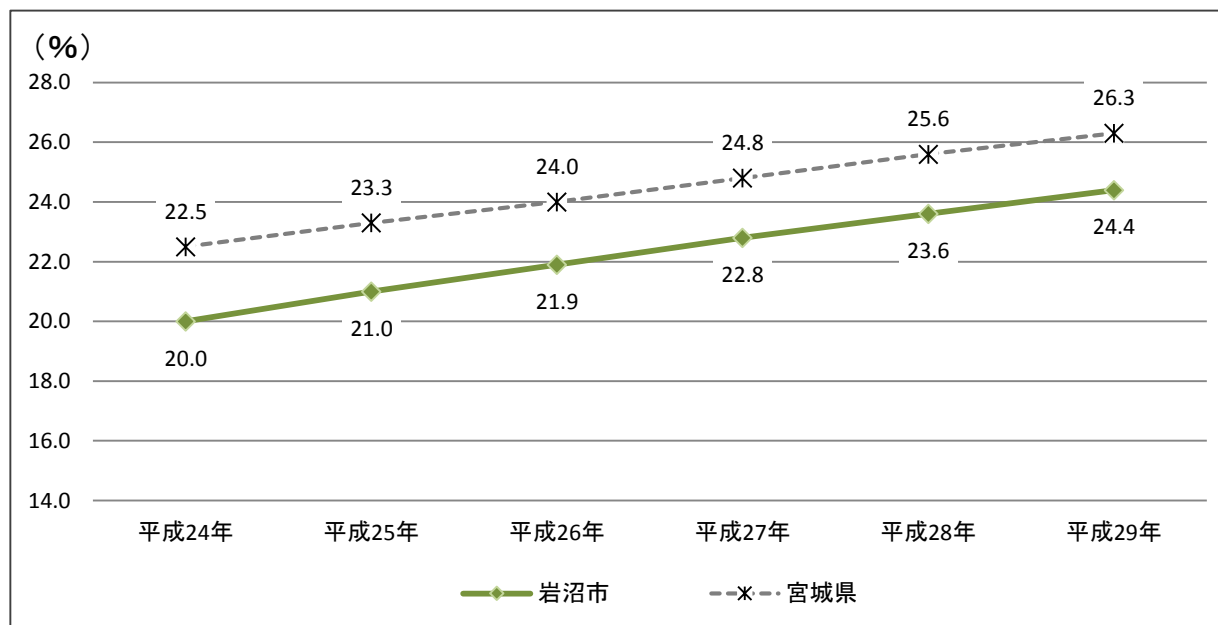
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総人口	43,808人	43,796人	44,062人	44,270人	44,345人	44,286人
年少人口 (14歳以下)	6,572人	6,529人	6,519人	6,457人	6,345人	6,217人
生産年齢人口 (15歳～64歳)	28,286人	27,898人	27,730人	27,534人	27,356人	27,074人
15～39歳	13,385人	13,081人	12,925人	12,793人	12,644人	12,457人
40～64歳	14,901人	14,817人	14,805人	14,741人	14,712人	14,617人
40歳以上人口	23,851人	24,186人	24,618人	25,020人	25,356人	25,612人
40歳以上人口比率	54.4%	55.2%	55.9%	56.5%	57.2%	57.8%
高齢者人口	8,950人	9,369人	9,813人	10,279人	10,644人	10,995人
前期高齢者人口 (65歳～74歳)	4,477人	4,798人	5,139人	5,425人	5,651人	5,901人
前期高齢者比率	10.2%	11.0%	11.7%	12.3%	12.7%	13.3%
後期高齢者人口 (75歳以上)	4,473人	4,571人	4,674人	4,854人	4,993人	4,691人
後期高齢者比率	10.2%	10.4%	10.6%	11.0%	11.3%	10.6%

出典：第7期 (平成30年度～平成32年度) 岩沼市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

(2) 高齢化率

高齢化率は上昇傾向にあるが、県全体と比べると低く推移している。平成29年3月末現在で65歳以上の人口は10,796人、高齢化率は24.4%となり、約4人に1人の割合となっている。この割合でみると本市は高齢社会となっており、超高齢社会の入口にある状態と言える。

【高齢化率の推移】

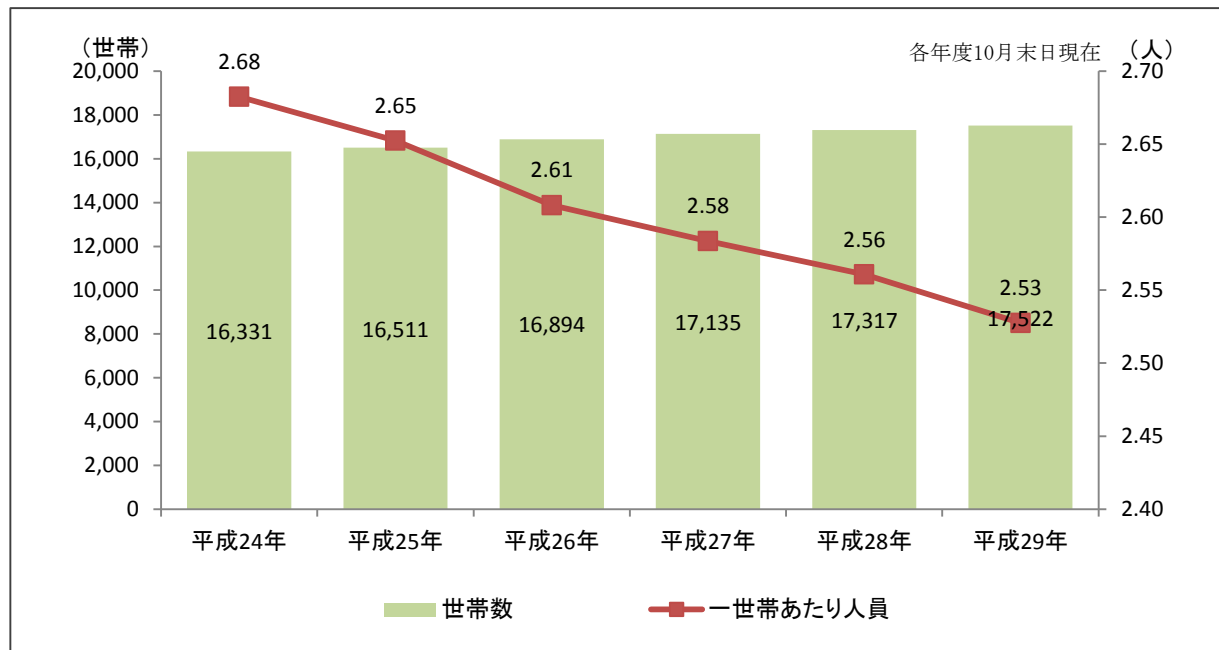


出典：第7期（平成30年度～平成32年度）岩沼市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

(3) 世帯数と一世帯当たり人員

世帯数は毎年増加しており、平成29年10月末現在、17,522世帯となっている。人口は微増傾向にあるが、世帯数の増加割合が大きいため、一世帯当たり人員は減少しており、平成29年には一世帯当たり2.53人となっている。

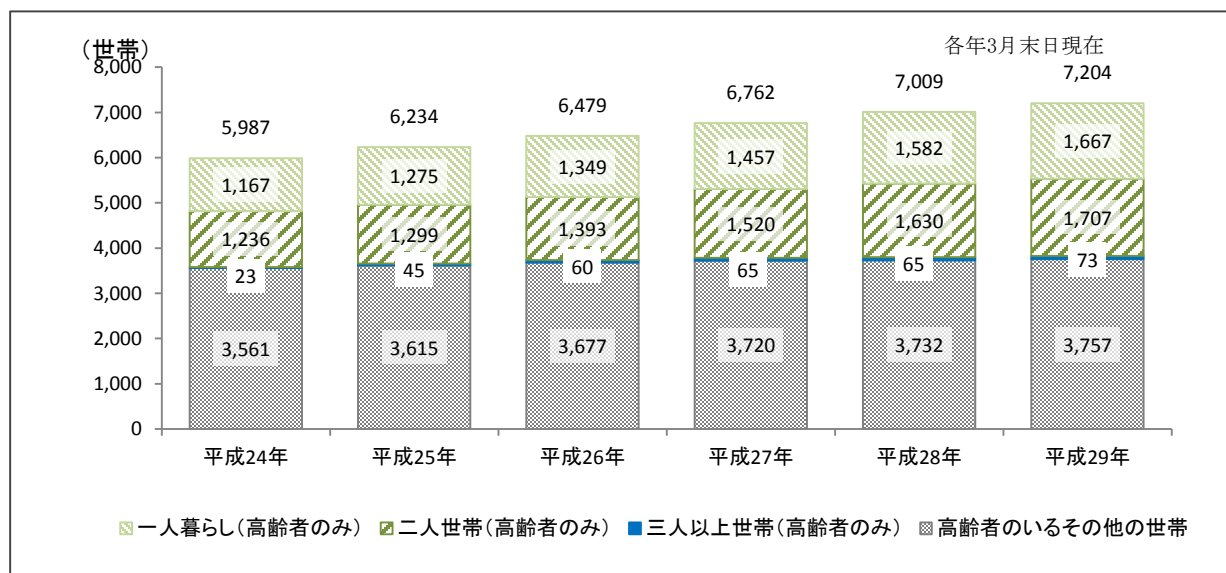
【世帯数の推移】



出典：第7期(平成30年度～平成32年度)岩沼市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

高齢者（65歳以上）のいる世帯をみると、平成24年から平成29年にかけて1,217世帯増加している。特に高齢者のみ世帯の増加が大きく、平成24年から平成29年にかけて、高齢者の一人暮らしは500世帯増、高齢者のみの2人世帯は471世帯増となっている。

【高齢者のいる世帯の推移】



出典：第7期(平成30年度～平成32年度)岩沼市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

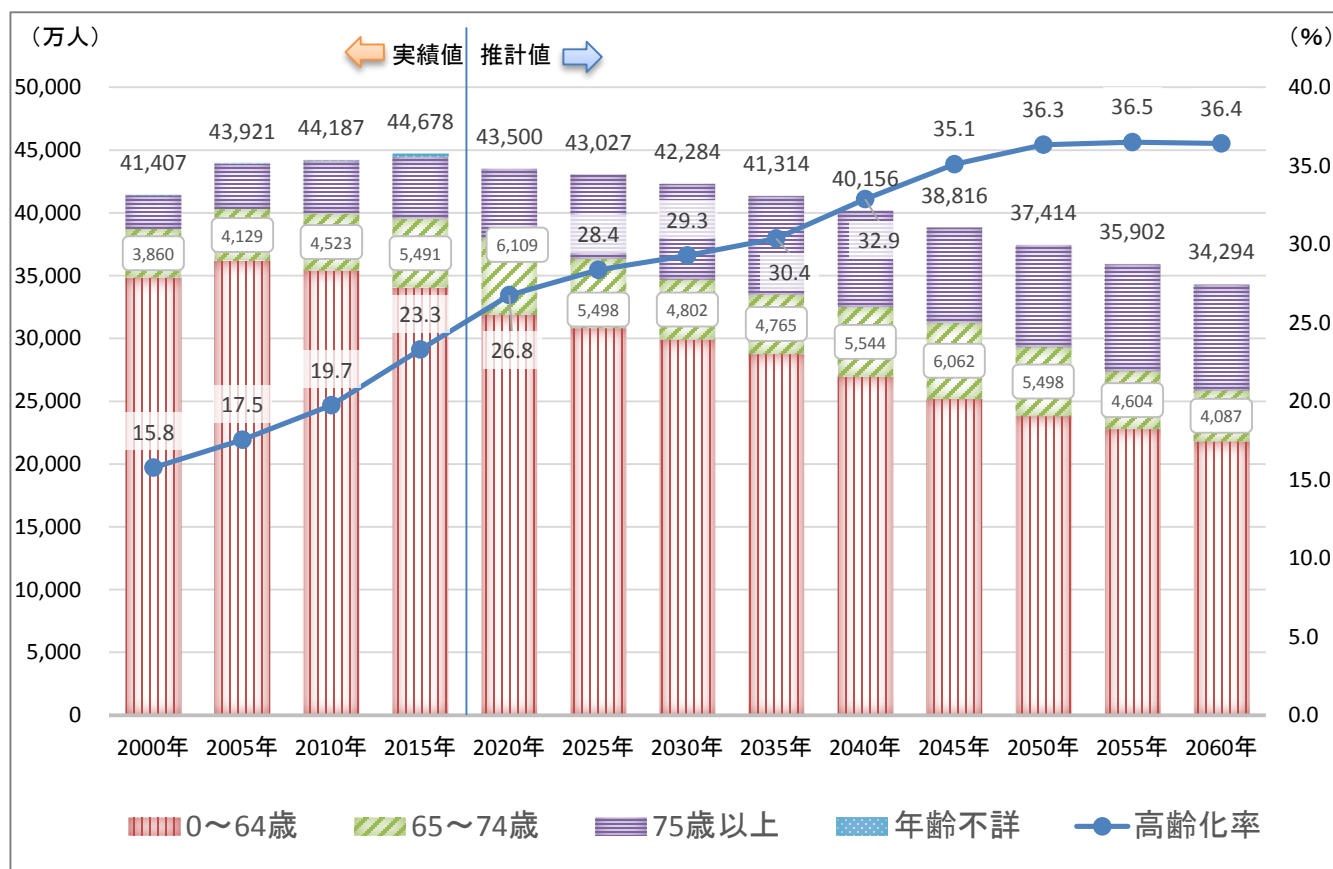
(4) 計画期間の人口推移

市の人口は、国勢調査では平成27(2015)年まで増加傾向にあり、平成27年10月の国勢調査では44,678人となっている。今後は減少に転じ、平成32(2020)年には43,500人に減少すると予想される。

平成27年の高齢者人口(65歳以上)10,279人、高齢化率23.3%から、平成32年には11,639人、高齢化率26.8%へとそれぞれ増加すると見込まれる。

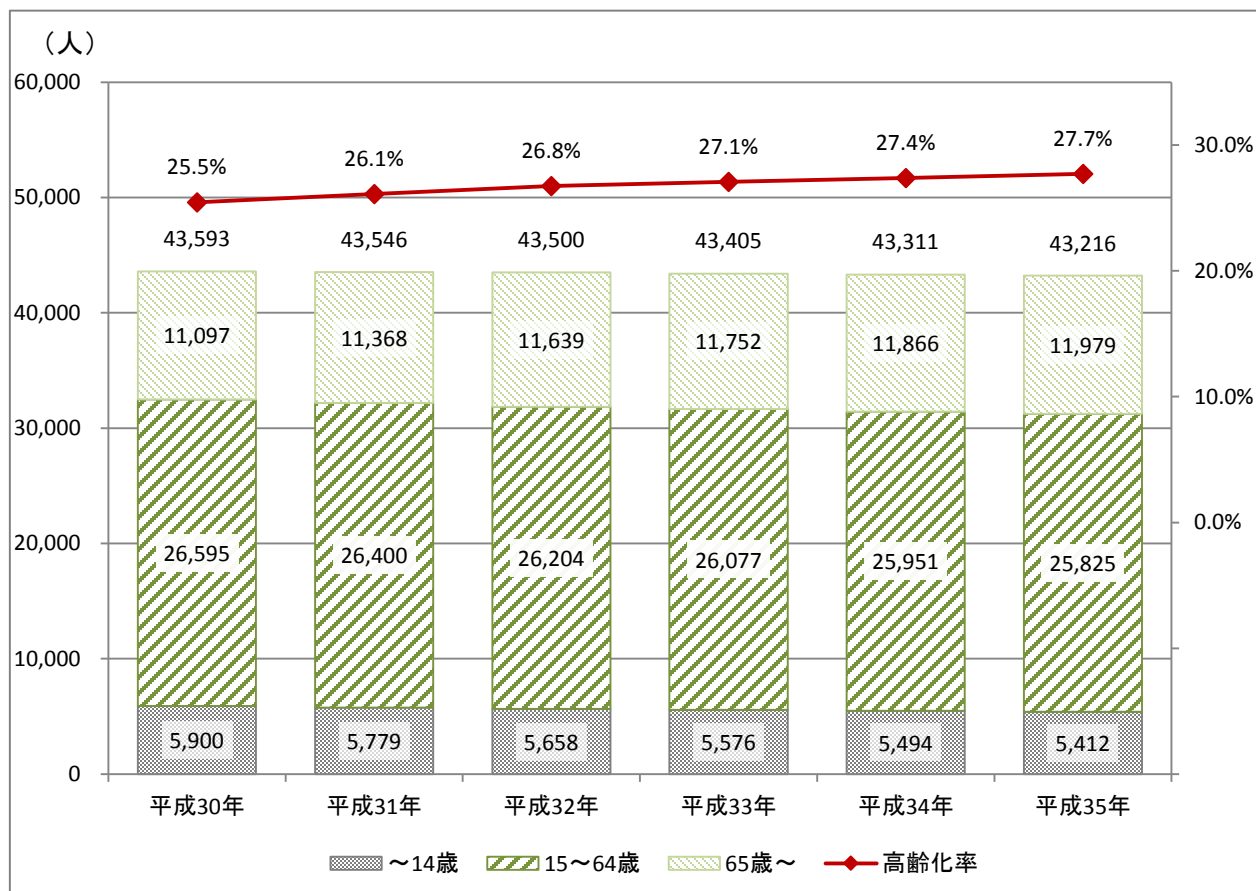
今後も高齢化はさらに進展し、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯も増加していくと考えられる。

【人口推計】



出典:2015年までは総務省統計局「国勢調査」、2020年以降は「岩沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略」による人口推計

【計画期間の人口予測】



出典:2000年~2015年までは総務省統計局「国勢調査」、2020年以降は「岩沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略」による人口推移

2. 保険者の特性把握

(1) 被保険者数の推移

国民健康保険の被保険者数は毎年減少が続き、その総数は平成29年度末では9,094人程度となる見込みである。原因は、平成28年10月から短時間労働者の被用者保険の適用拡大という改正の影響で、国保から社保へ移行する方が増加したためと思われる。ただし、被保険者数は減少しているが、高齢者の割合が非常に高くなってきており、一人当たりの医療費は増えている。

なお、退職者医療制度は、平成20年4月に廃止となったが、経過措置により平成26年度までにこの制度の該当となった退職被保険者が65歳に達するまで存続する。

平成27年度以降の退職被保険者数は年々減少し、平成31年度中には0人となる見込みだが、平成29年度末では、100人程度と見込んでいる。このような現状を踏まえ、被保険者総数の減少傾向は、平成30年度以降も続くものと推測している。

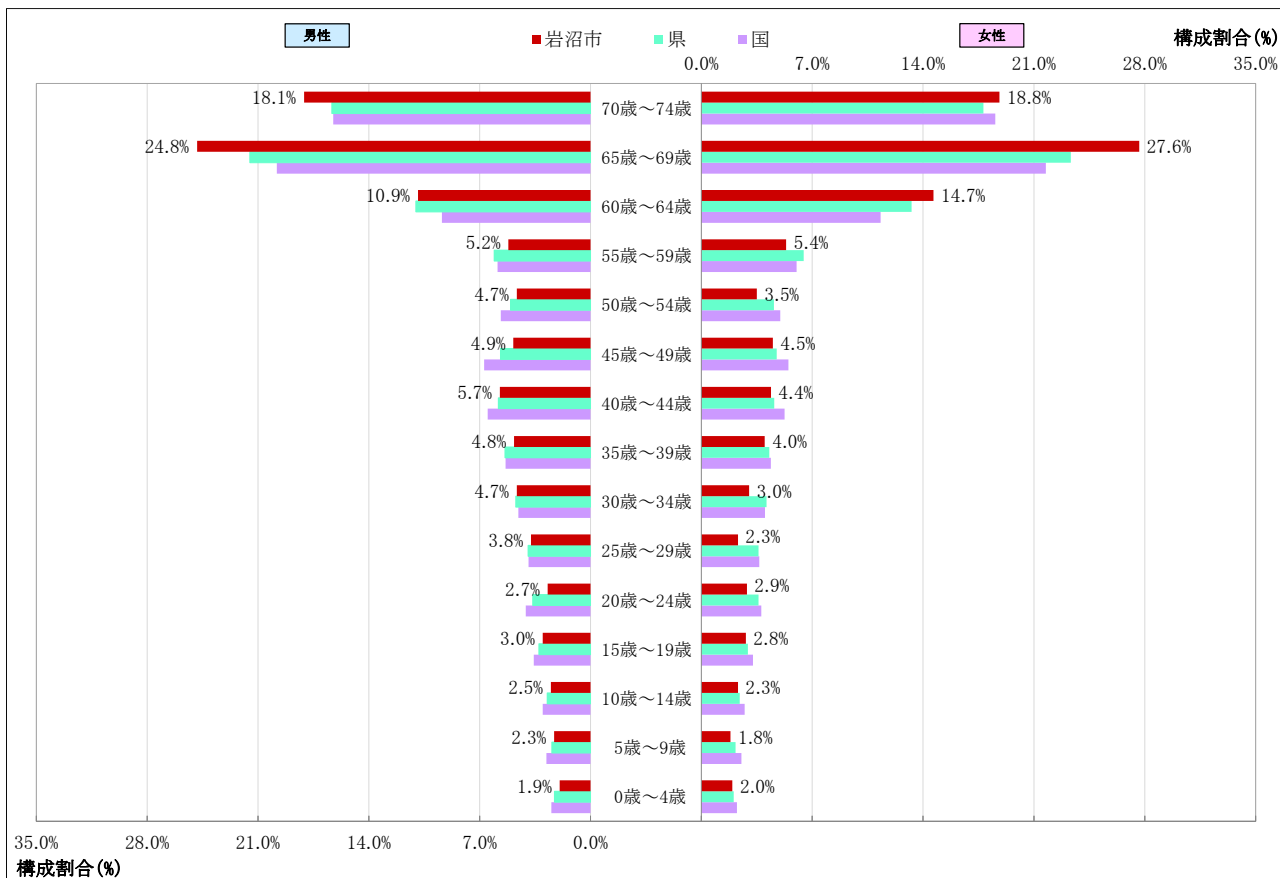
【被保険者数の推移】

(単位: 人、%)

年度	人口	伸び率	国保被保険者数			
			一般	退職	計	伸び率
25	43,796	▲0.03	9,246	858	10,104	▲1.83
26	44,062	0.61	9,149	702	9,851	▲2.50
27	44,270	0.47	9,109	466	9,575	▲2.80
28	44,345	0.17	9,028	292	9,320	▲2.66
29	44,286	▲0.13	8,714	100	9,094	▲2.42
30	—	—	8,595	68	8,663	▲4.74

※人口：毎年度10月末時点 ※被保険者数：毎年度3月末時点、29年度、30年度は推計値
出典: 岩沼市

【男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)】



出典: 国保データベース (KDB) システム「人口及び被保険者の状況」



(2) 一人当たり医療費の推移

震災の影響等により24年度以降、増加していた医療費は、薬価改定の効果等で28年度は伸びが少し落ち着いてきた傾向にあるが、医療の高度化や高齢化に伴い、平成29年度の一人当たり医療費、一般被保険者分は、385,979円程度、退職被保険者分は、449,498円程度になると見込んでいる。平成30年度の一人当たり医療費については、前3年の伸び率等を参考にした推計値となっている。

【一人当たり医療費の推移】

(単位：円、％)

年度	国民健康保険				参考：後期高齢者医療	
	一般被保険者		退職被保険者			
	一人当医療費	対前年伸率	一人当医療費	対前年伸率	一人当医療費	対前年伸率
25	338,681	3.43	378,795	▲13.77	848,051	▲2.75
26	342,645	1.17	397,949	5.06	839,035	▲1.06
27	372,734	8.76	430,723	8.24	884,718	5.44
28	366,685	▲1.62	418,056	▲2.94	881,326	▲0.38
29	385,979	5.26	449,498	7.52	—	—
30	398,320	3.20	481,506	7.12	—	—

※人口：毎年度10月末時点 ※被保険者数：毎年度3月末時点、29年度、30年度は推計値
出典：岩沼市



(3) 医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

【医療基礎情報(平成28年度)】

医療項目	岩沼市	県	国
千人当たり			
病院数	0.5	0.3	0.3
診療所数	3.3	3.0	3.0
病床数	87.0	46.0	46.8
医師数	8.9	9.8	9.2
外来患者数	748.5	707.9	668.3
入院患者数	20.5	18.7	18.2
受診率	769.0	726.6	686.5
一件当たり医療費(円)	35,000	34,760	35,330
一般(円)	34,870	34,720	35,270
退職(円)	38,240	36,590	37,860
後期(円)	0	0	0
外来			
外来費用の割合	61.1%	61.6%	60.1%
外来受診率	748.5	707.9	668.3
一件当たり医療費(円)	21,970	21,980	21,820
一人当たり医療費(円)	16,440	15,560	14,580
一日当たり医療費(円)	14,100	14,770	13,910
一件当たり受診回数	1.6	1.5	1.6
入院			
入院費用の割合	38.9%	38.4%	39.9%
入院率	20.5	18.7	18.2
一件当たり医療費(円)	511,690	519,780	531,780
一人当たり医療費(円)	10,470	9,700	9,670
一日当たり医療費(円)	32,420	33,810	34,030
一件当たり在院日数	15.8	15.4	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(4) 介護保険の状況

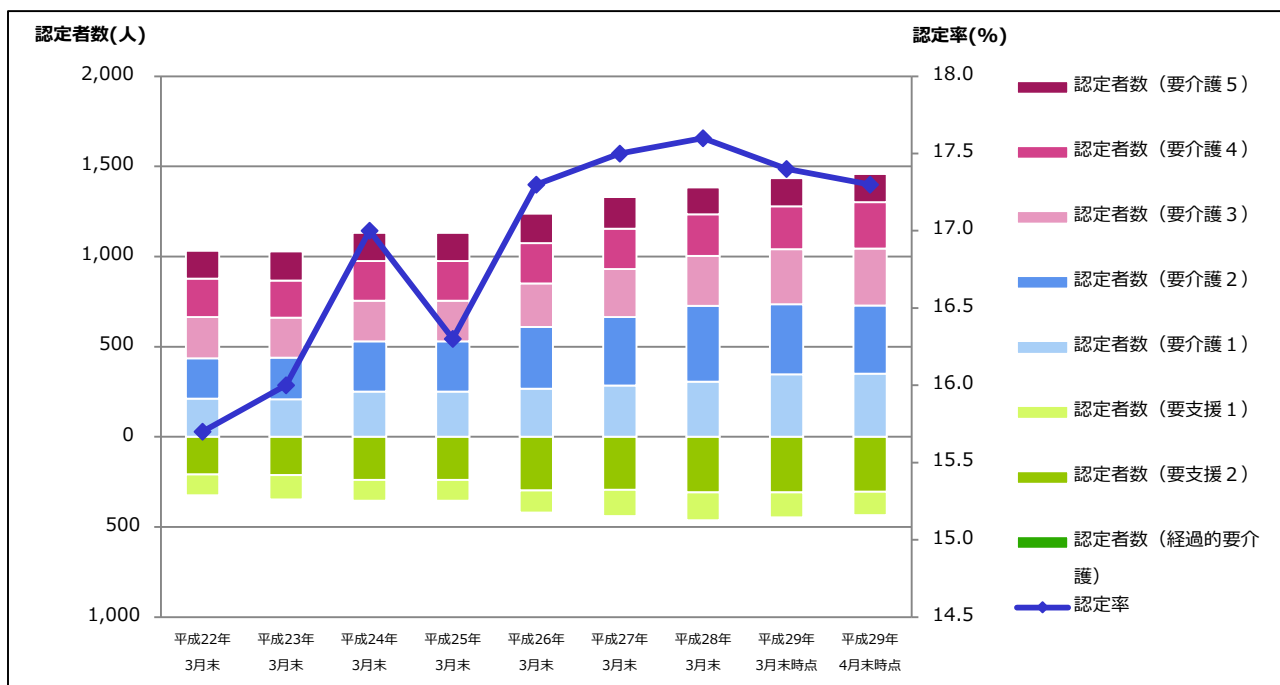
① 要介護高齢者等

市の要支援・要介護者数のこれまでの実績をみると、認定者数は平成22年度から増加しており、平成29年4月末時点でも増加傾向にある。

一方認定率は、震災の影響により急増した平成24年度を除いて平成22年度から増加傾向にあったが、高齢者人口の増加に伴い、平成28年3月末をピークに減少に転じている。平成29年4月末時点では17.3%となっている。

要介護度別に推移を見ると、平成28年以降、要介護1、要介護3、要介護4が増加傾向にあり、要介護5がほぼ横ばい、要介護2が減少傾向となっている。

【要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移】

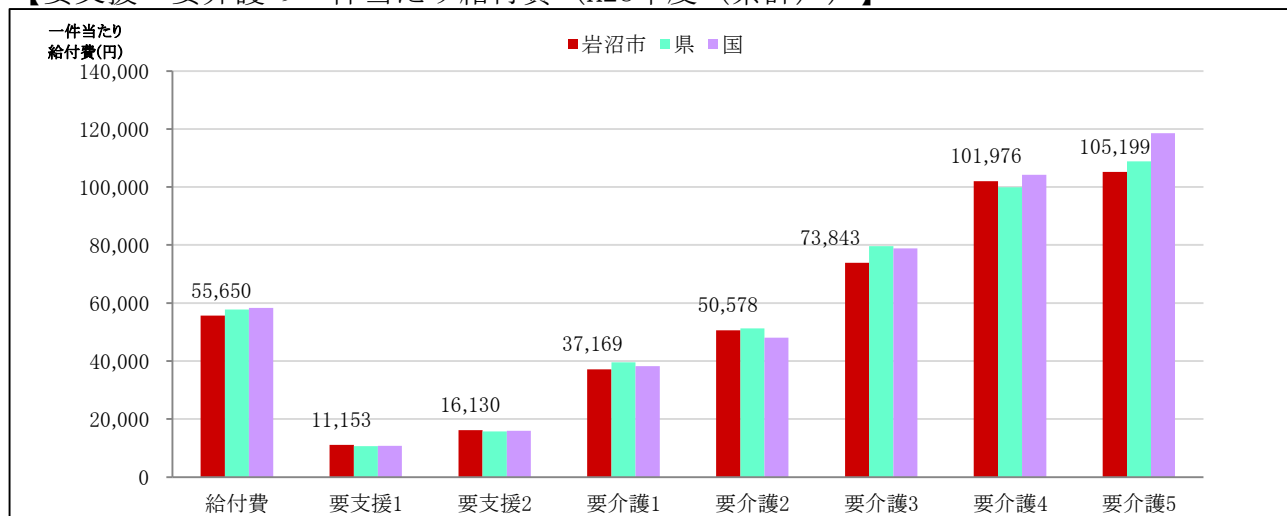


出典：平成21年度から平成27年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」

平成28年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」

平成29年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

【要支援・要介護の一件当たり給付費（H28年度（累計））】



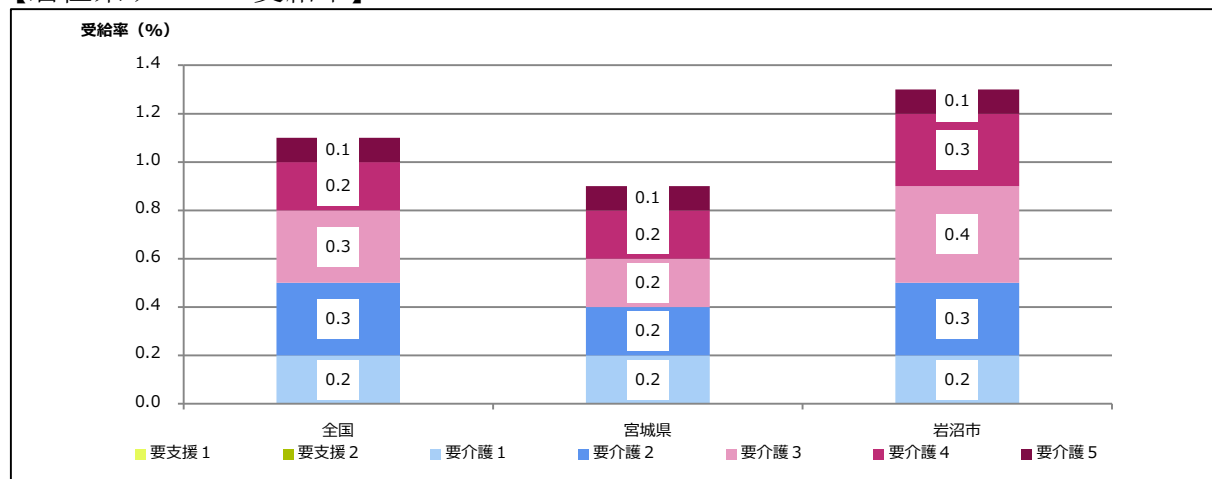
出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

②介護保険サービス受給率

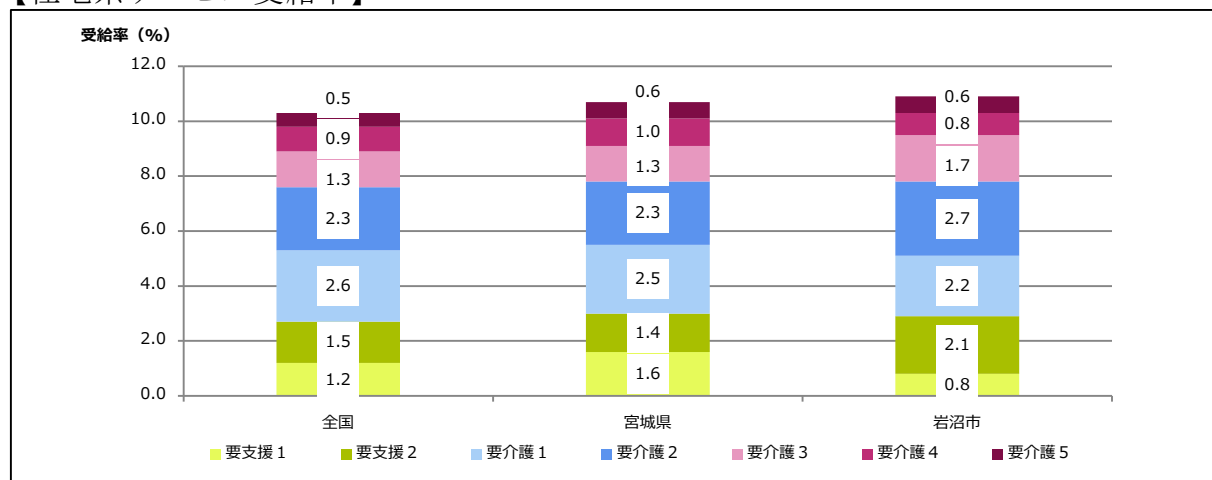
介護保険サービスの受給率をみると、県の居住系サービス受給率は全国に比べ低くなっているが、市では全国、県に比べ高くなっている。

在宅系サービス受給率は、全国、県とほぼ同割合で、施設系サービスでは、全国や県より受給率が低くなっている。

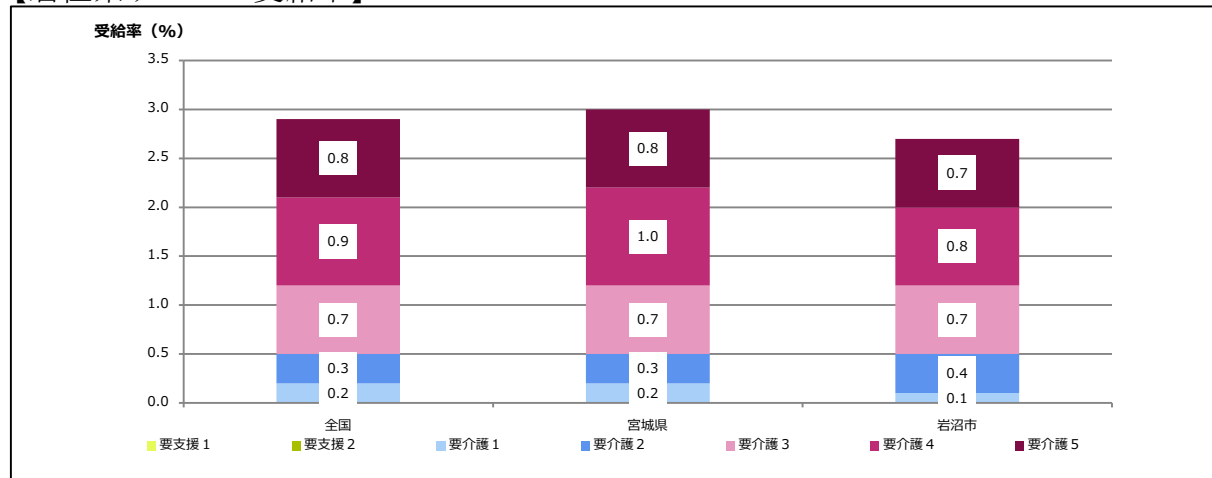
【居住系サービス受給率】



【在宅系サービス受給率】



【施設系サービス受給率】



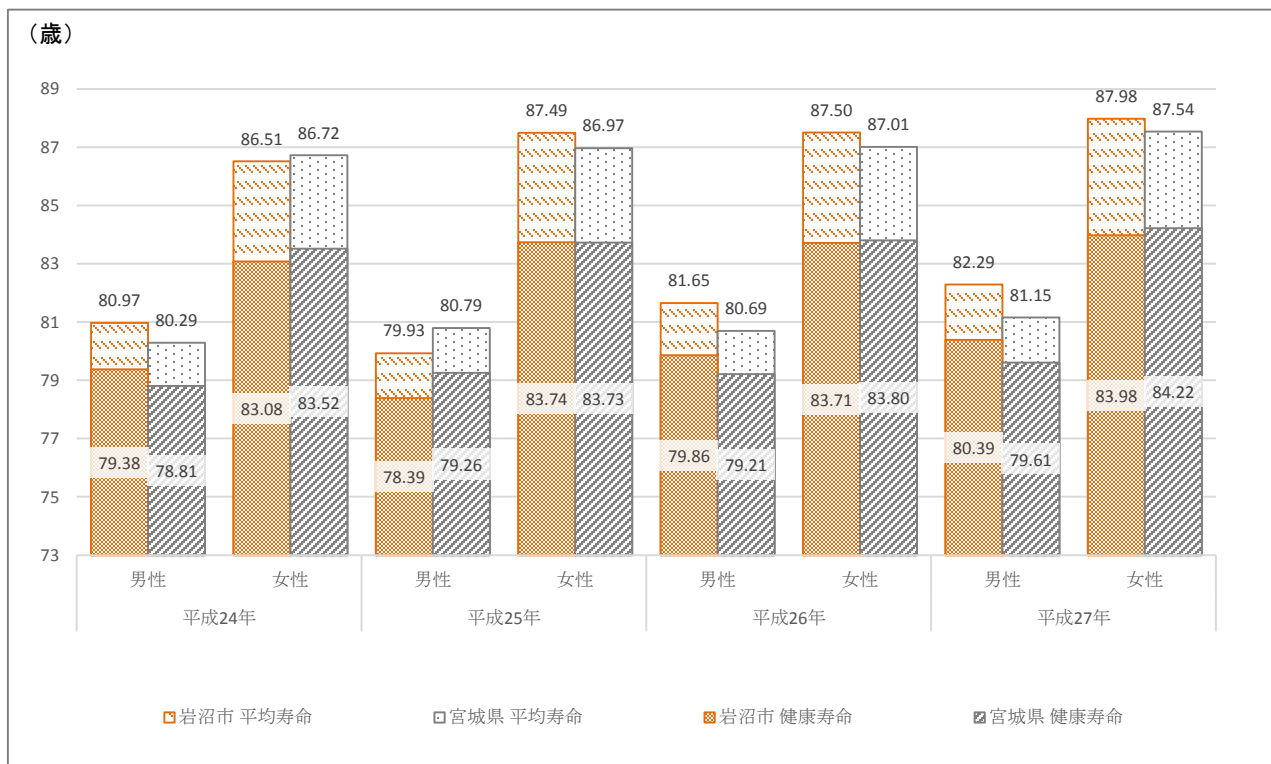
③健康寿命・平均寿命

市民の平均寿命は、平成27年には男性82.29歳・女性87.98歳でともに伸びているが、男性の伸びが顕著で、平成24年から平成27年にかけて男性は1.32歳伸びている。県の男性の平均寿命はほぼ横ばいで推移している。

健康寿命(※)は、平成27年には男性80.39歳・女性83.98歳で、男性は伸びているものの女性は平成25年以降ほぼ横ばいで推移している。

一方不健康な期間は女性が男性より長くなっており、平成27年には4.00年となっている。男性は、平均寿命、健康寿命ともに伸びているが、それに伴い不健康な期間も延びている。男性の不健康な期間は、平成24年には1.59年であったが、平成27年には1.90年となっている。

【平均寿命と健康寿命の推移】



※健康寿命：高齢者が認知症や寝たきりにならない状態で介護を必要とせず生活できる期間

出典：第7期（平成30年度～平成32年度）岩沼市高齢者福祉計画・介護保険事業計画



本市の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。

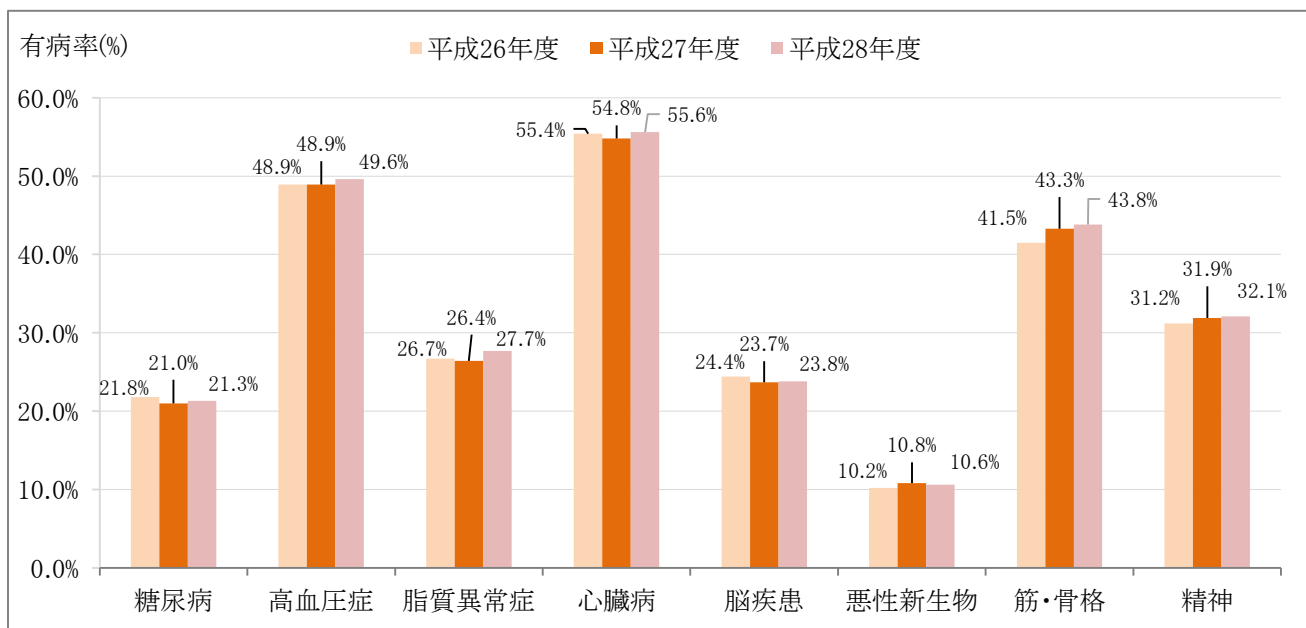
【年度別 認定者の疾病別有病状況】

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分		岩沼市					
		平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位
認定者数(人)		1,844		1,920		1,964	
糖尿病	実人数(人)	396	7	413	7	430	7
	有病率(%)	21.8%		21.0%		21.3%	
高血圧症	実人数(人)	897	2	955	2	1,003	2
	有病率(%)	48.9%		48.9%		49.6%	
脂質異常症	実人数(人)	499	5	520	5	564	5
	有病率(%)	26.7%		26.4%		27.7%	
心臓病	実人数(人)	1,017	1	1,071	1	1,121	1
	有病率(%)	55.4%		54.8%		55.6%	
脳疾患	実人数(人)	438	6	465	6	483	6
	有病率(%)	24.4%		23.7%		23.8%	
悪性新生物	実人数(人)	195	8	208	8	216	8
	有病率(%)	10.2%		10.8%		10.6%	
筋・骨格	実人数(人)	801	3	876	3	852	3
	有病率(%)	41.5%		43.3%		43.8%	
精神	実人数(人)	590	4	634	4	645	4
	有病率(%)	31.2%		31.9%		32.1%	

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

【年度別 認定者の疾病別有病率】



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(5) 主たる死因の状況

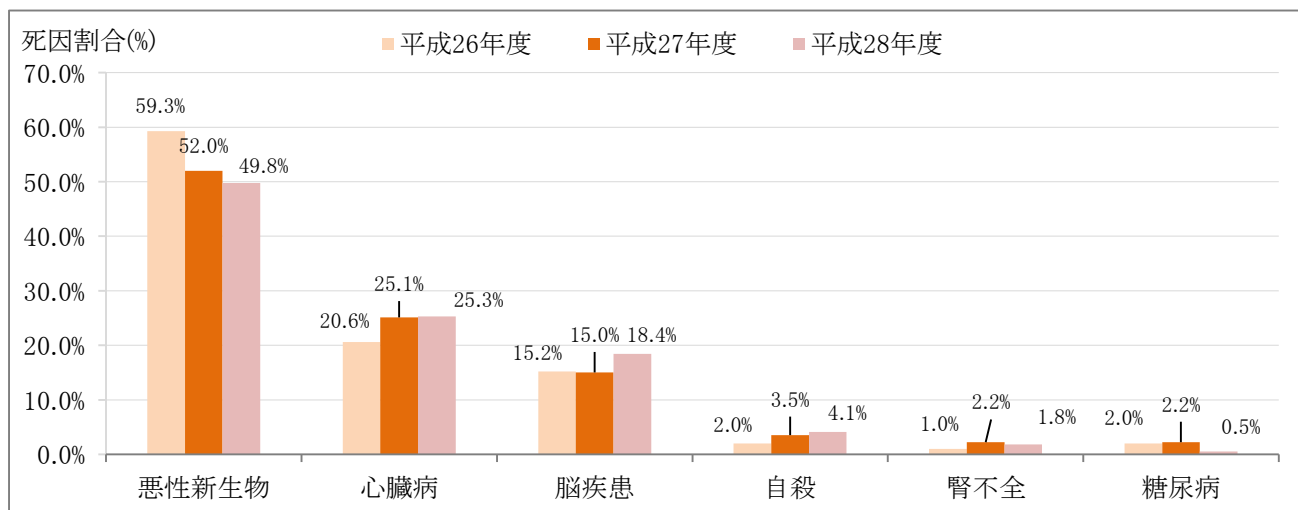
本市の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数108人は平成26年度121人より13人減少しており、心臓病を死因とする人数55人は平成26年度42人より13人増加している。また、脳疾患を死因とする人数40人は平成26年度31人より9人増加している。

【年度別 主たる死因の状況】

疾病項目	岩沼市						県			国		
	人数(人)			割合(%)								
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
悪性新生物	121	118	108	59.3%	52.0%	49.8%	48.0%	48.4%	48.2%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	42	57	55	20.6%	25.1%	25.3%	24.8%	24.8%	26.0%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	31	34	40	15.2%	15.0%	18.4%	19.0%	18.4%	17.6%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	4	8	9	2.0%	3.5%	4.1%	3.2%	3.4%	3.4%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	2	5	4	1.0%	2.2%	1.8%	3.1%	3.3%	3.0%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	4	5	1	2.0%	2.2%	0.5%	1.9%	1.8%	1.8%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	204	227	217									

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

【年度別 主たる死因の割合】



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数9,414人は、平成26年度9,784人より370人減少しており、医療費30億5,809万円は平成26年度28億8,253万円より1億7,556万円増加している。また、一カ月平均の患者数4,997人は、平成26年度4,934人より63人増加している。

【年度別 基礎統計】

			平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	一カ月平均の被保険者数(人)		9,784	9,626	9,414
B	レセプト件数(件)	入院外	82,105	85,866	84,610
		入院	2,172	2,456	2,301
		調剤	64,925	65,798	64,753
		合計	149,202	154,120	151,664
C	医療費(円) ※		2,882,525,820	3,202,220,570	3,058,092,530
D	一カ月平均の患者数(人) ※		4,934	5,053	4,997
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)		294,614	332,664	324,834
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)		19,320	20,777	20,164
D/A	有病率(%)		50.4%	52.5%	53.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

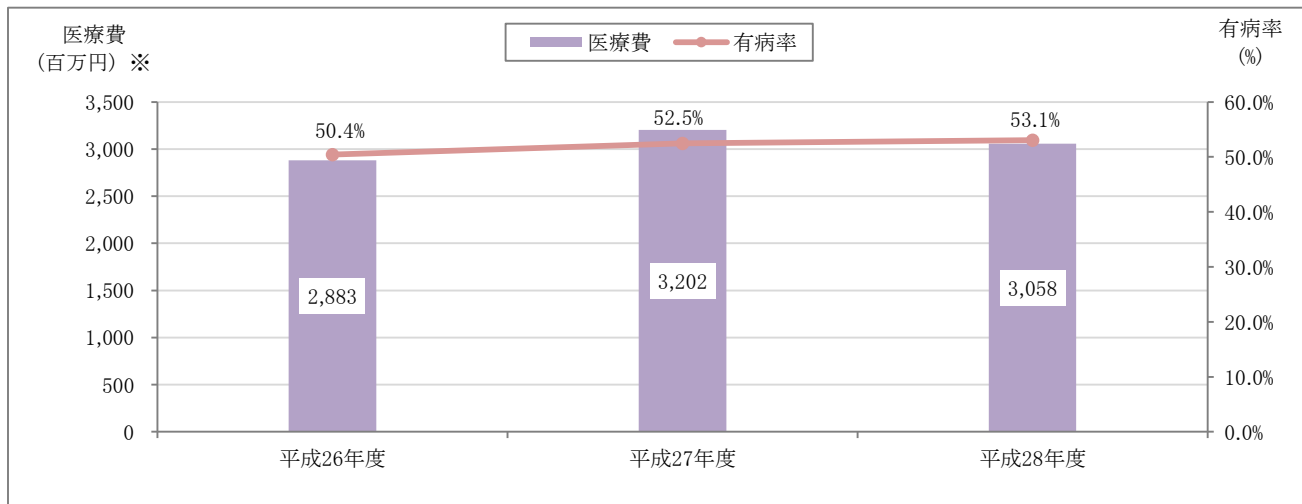
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

【年度別 医療費及び有病率】



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成28年度高額レセプト件数904件は平成26年度806件より98件増加しており、平成28年度高額レセプトの医療費8億9,907万円は平成26年度7億7,157万円より1億2,750万円増加している。

【年度別 高額レセプトの件数及び医療費】

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	149,202	154,120	151,664
B	高額レセプト件数(件)	806	957	904
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.5%	0.6%	0.6%
C	医療費(円) ※	2,882,525,820	3,202,220,570	3,058,092,530
D	高額レセプトの医療費(円) ※	771,569,470	947,765,540	899,066,350
E	その他レセプトの医療費(円) ※	2,110,956,350	2,254,455,030	2,159,026,180
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	26.8%	29.6%	29.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

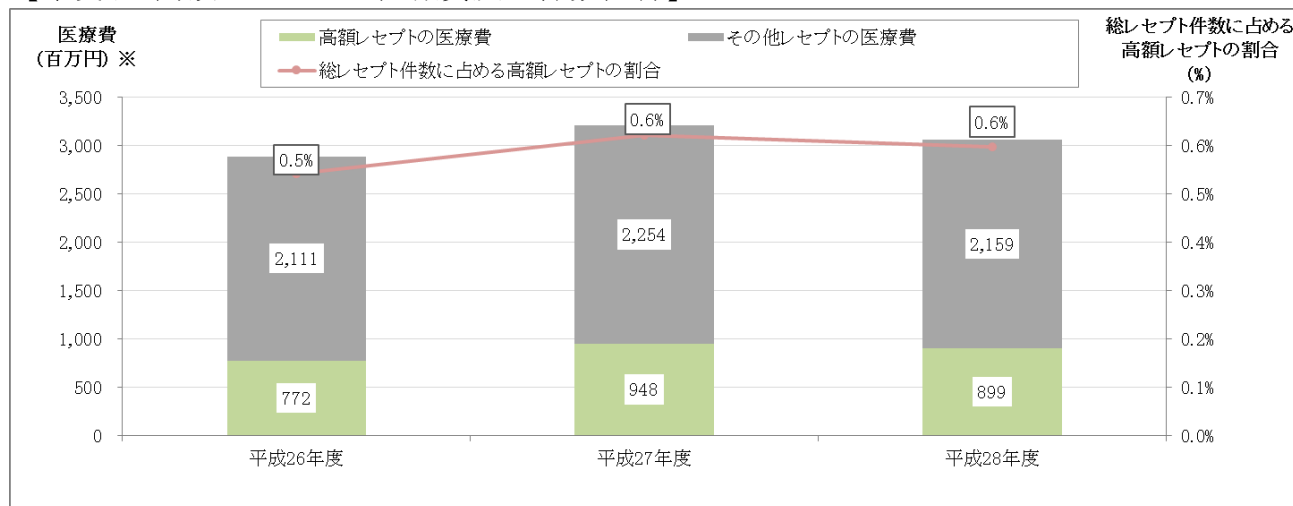
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

【年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合】



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

【高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別医療費】

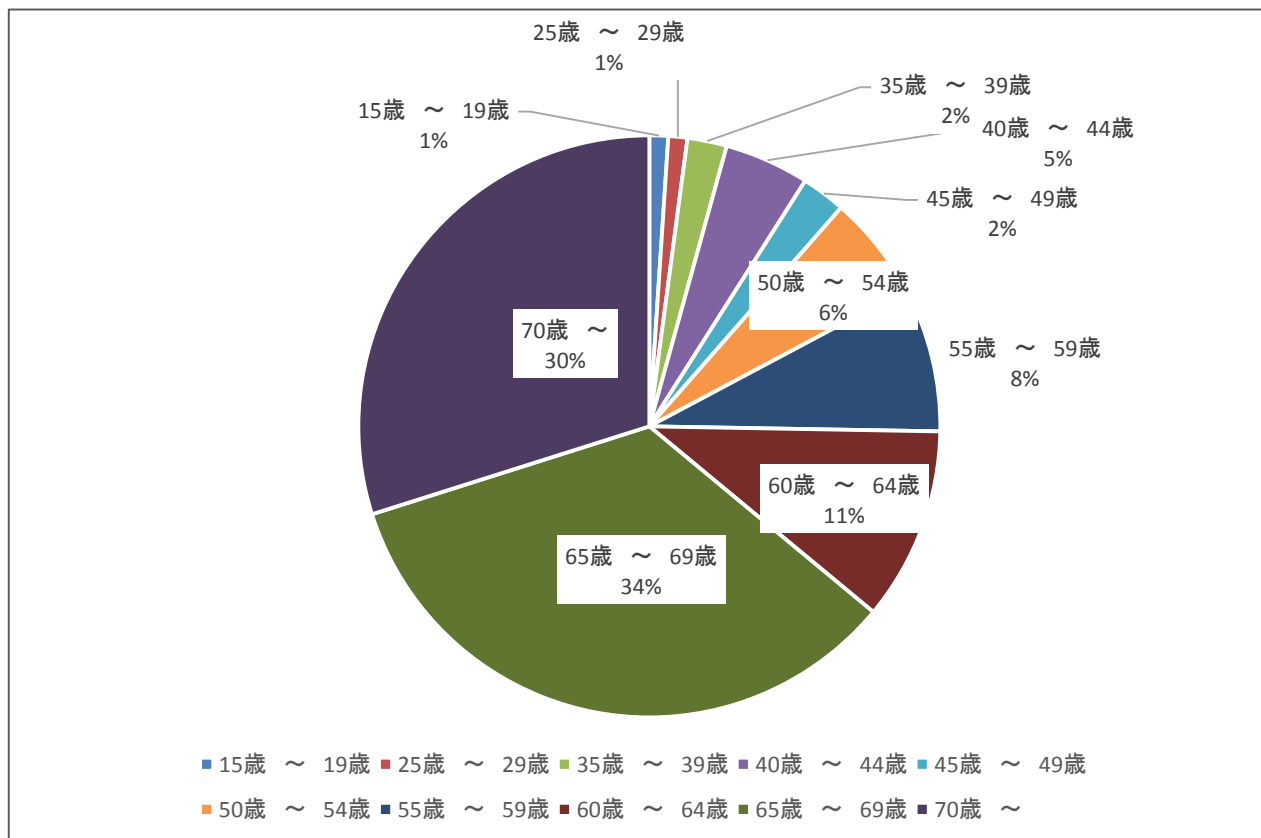
年齢階層	入院外(円)	入院(円)	総計(円)	構成比(%)
0歳 ～ 4歳	0	3,173,370	3,173,370	0.4%
5歳 ～ 9歳	0	1,002,700	1,002,700	0.1%
10歳 ～ 14歳	0	0	0	0.0%
15歳 ～ 19歳	0	9,244,400	9,244,400	1.0%
20歳 ～ 24歳	0	4,654,790	4,654,790	0.5%
25歳 ～ 29歳	0	9,337,010	9,337,010	1.0%
30歳 ～ 34歳	0	4,885,310	4,885,310	0.5%
35歳 ～ 39歳	0	19,382,790	19,382,790	2.2%
40歳 ～ 44歳	9,522,860	32,217,130	41,739,990	4.6%
45歳 ～ 49歳	3,112,550	18,613,200	21,725,750	2.4%
50歳 ～ 54歳	12,809,520	38,259,160	51,068,680	5.7%
55歳 ～ 59歳	4,804,150	66,486,310	71,290,460	7.9%
60歳 ～ 64歳	13,863,910	81,189,030	95,052,940	10.6%
65歳 ～ 69歳	44,031,060	257,899,110	301,930,170	33.6%
70歳 ～	35,175,830	229,402,160	264,577,990	29.4%
合計	123,319,880	775,746,470	899,066,350	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

【高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別医療費構成比】



②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

【年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)】

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者一人当たりの医療費 (円) ※
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 胸部食道癌	3,077,735
	2	1402 腎不全	慢性腎不全, 急性腎後性腎不全, 急性腎性腎不全	5,425,347
	2	1901 骨折	腰椎圧迫骨折, 大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端粉碎骨折	2,133,166
	4	0903 その他の心疾患	心房細動, 連合弁膜症, 発作性心房細動	2,963,841
	5	0704 その他の眼及び付属器の疾患	裂孔原性網膜剥離, 網膜前膜, 網膜剥離	1,206,926
	5	1111 胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症, 胆石性急性胆のう炎, 胆石性胆のう炎	1,060,436
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	卵巣癌, 胸部食道癌, 膵頭部癌	3,436,935
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端粉碎骨折, 腰椎圧迫骨折	2,172,529
	3	1302 関節症	両側性形成不全性股関節症, 原発性股関節症, 変形性股関節症	2,508,946
	3	1402 腎不全	慢性腎不全, 急性腎不全	6,373,739
	5	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳房上外側部乳癌, 乳房下外側部乳癌, 乳房中央部乳癌	2,655,971
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 卵巣癌, 下顎骨悪性腫瘍	3,072,355
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端粉碎骨折, 骨盤骨折	2,291,162
	3	1402 腎不全	慢性腎不全, 急性腎後性腎不全, 末期腎不全	6,257,293
	4	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 幽門前庭部癌, 噴門癌	2,127,510
	5	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 肺癌, 下葉肺癌	4,117,665
	5	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	脊髄腫瘍, 膵管内乳頭粘液性腫瘍, 小脳橋角部髄膜腫	2,048,956

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

【年度別 大分類による疾病別医療費統計】※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	73,663,187	2.6%	12	135,107,997	4.3%	11	97,496,879	3.2%	12
II. 新生物<腫瘍>	377,178,819	13.2%	2	426,231,753	13.4%	2	441,225,582	14.5%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	24,168,637	0.8%	15	26,837,479	0.8%	15	14,753,191	0.5%	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	290,952,453	10.2%	3	306,575,994	9.7%	3	298,834,035	9.8%	3
V. 精神及び行動の障害	223,070,571	7.8%	4	271,336,719	8.5%	5	262,167,383	8.6%	5
VI. 神経系の疾患	156,352,858	5.5%	9	185,946,753	5.9%	8	197,898,938	6.5%	7
VII. 眼及び付属器の疾患	135,308,627	4.7%	10	146,210,713	4.6%	10	128,979,485	4.2%	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	12,035,462	0.4%	16	13,515,273	0.4%	16	14,055,031	0.5%	16
IX. 循環器系の疾患	529,479,159	18.6%	1	509,309,111	16.0%	1	459,196,299	15.1%	1
X. 呼吸器系の疾患	174,915,206	6.1%	8	162,519,686	5.1%	9	151,298,968	5.0%	9
X I. 消化器系の疾患 ※	208,049,032	7.3%	7	233,002,134	7.3%	7	196,230,033	6.5%	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	54,945,534	1.9%	13	53,909,298	1.7%	13	54,662,871	1.8%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	220,609,922	7.7%	5	283,904,422	8.9%	4	248,506,730	8.2%	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	216,859,741	7.6%	6	255,044,539	8.0%	6	284,156,772	9.4%	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	6,695,568	0.2%	18	3,198,833	0.1%	18	4,881,368	0.2%	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,892,665	0.1%	21	766,560	0.0%	21	1,487,848	0.0%	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,396,432	0.2%	19	3,177,890	0.1%	19	5,773,304	0.2%	17
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	47,533,893	1.7%	14	49,885,856	1.6%	14	50,063,984	1.6%	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	81,835,212	2.9%	11	98,739,652	3.1%	12	118,964,487	3.9%	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	6,715,322	0.2%	17	7,312,296	0.2%	17	4,608,615	0.2%	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	2,035,740	0.1%	20	1,983,262	0.1%	20	3,376,137	0.1%	20
合計	2,848,694,040			3,174,516,220			3,038,617,940		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

【中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)】

※生活習慣病を

網掛け

表示する。

順位	疾病分類(中分類)	患者数(人)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)
1	1402 腎不全	223	222,553,889	7.3%
2	0901 高血圧性疾患	3,216	173,255,229	5.7%
3	0402 糖尿病	2,546	159,453,305	5.2%
4	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	272	141,301,668	4.7%
5	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	844	125,799,593	4.1%
6	0606 その他の神経系の疾患	1,785	112,777,989	3.7%
7	0903 その他の心疾患	1,411	110,841,371	3.6%
8	1113 その他の消化器系の疾患	2,565	110,791,808	3.6%
9	0403 脂質異常症	2,334	94,264,430	3.1%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	2,162	77,936,262	2.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)】

※生活習慣病を

網掛け

表示する。

順位	疾病分類(中分類)	患者数(人) ※	医療費(円)	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	3,216	173,255,229	37.6%
2	0703 屈折及び調節の障害	2,672	12,215,015	31.2%
3	1113 その他の消化器系の疾患	2,565	110,791,808	30.0%
4	0402 糖尿病	2,546	159,453,305	29.7%
5	0403 脂質異常症	2,334	94,264,430	27.3%
6	1003 その他の急性上気道感染症	2,284	17,534,890	26.7%
7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,229	50,063,984	26.0%
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	2,162	77,936,262	25.2%
9	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,979	25,550,813	23.1%
10	1006 アレルギー性鼻炎	1,958	26,010,563	22.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)】

※生活習慣病を 網掛け 表示する。

順位	疾病分類(中分類)		患者一人当たりの 医療費(円)
1	0209	白血病	1,322,799
2	1402	腎不全	998,000
3	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	682,584
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	519,491
5	0601	パーキンソン病	332,973
6	0602	アルツハイマー病	262,760
7	0501	血管性及び詳細不明の認知症	252,229
8	1602	その他の周産期に発生した病態	251,084
9	0208	悪性リンパ腫	244,938
10	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	217,394

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

【年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)】※生活習慣病を **網掛け** 表示する。

年度	順位	疾病分類(中分類)	患者数(人) ※	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	3,127	194,312,089	6.8%
	2	1402 腎不全	189	167,651,928	5.9%
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	888	162,415,244	5.7%
	4	0402 糖尿病	2,373	147,250,726	5.2%
	5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	266	123,077,364	4.3%
	6	1113 その他の消化器系の疾患	2,567	103,642,522	3.6%
	7	0903 その他の心疾患	1,386	99,444,808	3.5%
	8	0403 脂質異常症	2,277	98,244,140	3.4%
	9	0606 その他の神経系の疾患	1,762	87,307,253	3.1%
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	2,197	79,915,274	2.8%
平成27年度	1	1402 腎不全	211	191,944,069	6.0%
	2	0901 高血圧性疾患	3,188	189,544,497	6.0%
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	853	174,612,518	5.5%
	4	0402 糖尿病	2,586	163,134,389	5.1%
	5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	267	140,616,490	4.4%
	6	1113 その他の消化器系の疾患	2,697	115,385,002	3.6%
	7	0606 その他の神経系の疾患	1,890	100,298,230	3.2%
	8	0403 脂質異常症	2,337	99,145,137	3.1%
	9	0903 その他の心疾患	1,401	93,938,497	3.0%
	10	0105 ウイルス性肝炎	342	89,706,120	2.8%
平成28年度	1	1402 腎不全	223	222,553,889	7.3%
	2	0901 高血圧性疾患	3,216	173,255,229	5.7%
	3	0402 糖尿病	2,546	159,453,305	5.2%
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	272	141,301,668	4.7%
	5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	844	125,799,593	4.1%
	6	0606 その他の神経系の疾患	1,785	112,777,989	3.7%
	7	0903 その他の心疾患	1,411	110,841,371	3.6%
	8	1113 その他の消化器系の疾患	2,565	110,791,808	3.6%
	9	0403 脂質異常症	2,334	94,264,430	3.1%
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	2,162	77,936,262	2.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

【年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)】※生活習慣病を 網掛け 表示する。

年度	順位	疾病分類(中分類)	患者数(人) ※	医療費(円) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	3,127	194,312,089	36.2%
	2	0703 屈折及び調節の障害	2,706	13,191,391	31.3%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	2,567	103,642,522	29.7%
	4	0402 糖尿病	2,373	147,250,726	27.5%
	5	1003 その他の急性上気道感染症	2,360	19,632,199	27.3%
	6	0403 脂質異常症	2,277	98,244,140	26.3%
	7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,204	47,533,893	25.5%
	8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	2,197	79,915,274	25.4%
	9	1105 胃炎及び十二指腸炎	2,167	31,401,549	25.1%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	1,864	28,131,800	21.6%
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	3,188	189,544,497	36.4%
	2	0703 屈折及び調節の障害	2,804	13,531,295	32.0%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	2,697	115,385,002	30.8%
	4	0402 糖尿病	2,586	163,134,389	29.5%
	5	1003 その他の急性上気道感染症	2,359	18,826,885	26.9%
	6	0403 脂質異常症	2,337	99,145,137	26.7%
	7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,307	49,885,856	26.4%
	8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	2,267	86,733,579	25.9%
	9	1105 胃炎及び十二指腸炎	2,165	34,716,058	24.7%
	10	1006 アレルギー性鼻炎	1,952	27,055,210	22.3%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	3,216	173,255,229	37.6%
	2	0703 屈折及び調節の障害	2,672	12,215,015	31.2%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	2,565	110,791,808	30.0%
	4	0402 糖尿病	2,546	159,453,305	29.7%
	5	0403 脂質異常症	2,334	94,264,430	27.3%
	6	1003 その他の急性上気道感染症	2,284	17,534,890	26.7%
	7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,229	50,063,984	26.0%
	8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	2,162	77,936,262	25.2%
	9	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,979	25,550,813	23.1%
	10	1006 アレルギー性鼻炎	1,958	26,010,563	22.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

【年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)】

※生活習慣病を 網掛け 表示する。

年度	順位	疾病分類(中分類)	患者数(人) ※	医療費(円) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	1402 腎不全	189	167,651,928	887,047
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	266	123,077,364	462,697
	3	0209 白血病	34	13,968,700	410,844
	4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	32	11,233,949	351,061
	5	0602 アルツハイマー病	51	16,645,577	326,384
	6	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	119	34,930,914	293,537
	7	1602 その他の周産期に発生した病態	6	1,755,192	292,532
	8	0905 脳内出血	105	30,605,697	291,483
	9	0601 パーキンソン病	88	25,407,491	288,721
	10	0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	53	10,038,174	189,400
平成27年度	1	0209 白血病	28	29,201,442	1,042,909
	2	1402 腎不全	211	191,944,069	909,688
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	267	140,616,490	526,654
	4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	42	18,547,962	441,618
	5	0601 パーキンソン病	93	35,669,937	383,548
	6	0602 アルツハイマー病	53	17,978,217	339,212
	7	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	148	47,047,247	317,887
	8	0105 ウイルス性肝炎	342	89,706,120	262,299
	9	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	853	174,612,518	204,704
	10	0208 悪性リンパ腫	63	12,172,547	193,215
平成28年度	1	0209 白血病	24	31,747,185	1,322,799
	2	1402 腎不全	223	222,553,889	998,000
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	44	30,033,694	682,584
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	272	141,301,668	519,491
	5	0601 パーキンソン病	102	33,963,205	332,973
	6	0602 アルツハイマー病	57	14,977,312	262,760
	7	0501 血管性及び詳細不明の認知症	17	4,287,887	252,229
	8	1602 その他の周産期に発生した病態	5	1,255,422	251,084
	9	0208 悪性リンパ腫	67	16,410,830	244,938
	10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	316	68,696,509	217,394

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

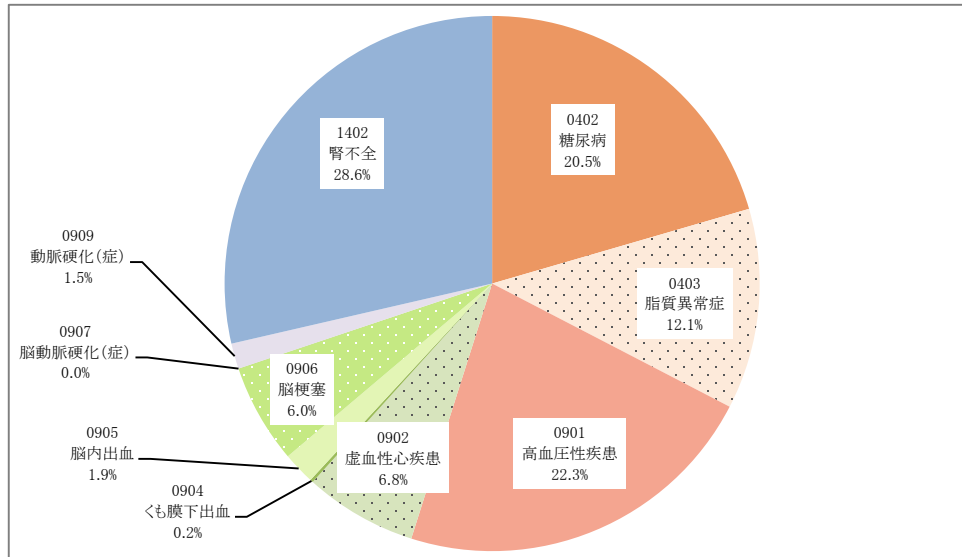
4. 生活習慣病に係る医療費

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、生活習慣病の医療費及び患者数を算出した。糖尿病医療費は1億5,945万円、脂質異常症医療費は9,426万円、高血圧性疾患医療費は1億7,326万円となっている。

【生活習慣病医療費】

疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
0402	糖尿病	159,453,305	2,546	62,629
0403	脂質異常症	94,264,430	2,334	40,388
0901	高血圧性疾患	173,255,229	3,216	53,873
0902	虚血性心疾患	52,993,914	1,058	50,089
0904	くも膜下出血	1,399,886	103	13,591
0905	脳内出血	15,160,896	162	93,586
0906	脳梗塞	46,826,651	599	78,175
0907	脳動脈硬化(症)	34,975	4	8,744
0909	動脈硬化(症)	11,969,408	425	28,163
1402	腎不全	222,553,889	223	998,000

【生活習慣病医療費構成】



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

また、平成26年度から平成28年度における、生活習慣病医療費を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、糖尿病医療費1億5,945万円は、平成26年度1億4,725万円より1,220万円増加している。また、脂質異常症医療費9,426万円は、平成26年度9,824万円より398万円減少しており、高血圧性疾患医療費1億7,326万円は、平成26年度1億9,431万円より2,105万円減少している。

【年度別 生活習慣病医療費】

疾病分類(中分類)		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	147,250,726	18.9%	163,134,389	20.3%	159,453,305	20.5%
0403	脂質異常症	98,244,140	12.6%	99,145,137	12.3%	94,264,430	12.1%
0901	高血圧性疾患	194,312,089	24.9%	189,544,497	23.6%	173,255,229	22.3%
0902	虚血性心疾患	74,469,446	9.5%	72,264,952	9.0%	52,993,914	6.8%
0904	くも膜下出血	5,310,086	0.7%	7,172,027	0.9%	1,399,886	0.2%
0905	脳内出血	30,605,697	3.9%	18,158,411	2.3%	15,160,896	1.9%
0906	脳梗塞	48,376,444	6.2%	41,647,014	5.2%	46,826,651	6.0%
0907	脳動脈硬化(症)	7,781	0.0%	64,884	0.0%	34,975	0.0%
0909	動脈硬化(症)	13,626,333	1.7%	20,132,707	2.5%	11,969,408	1.5%
1402	腎不全	167,651,928	21.5%	191,944,069	23.9%	222,553,889	28.6%
合計		779,854,670		803,208,087		777,912,583	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

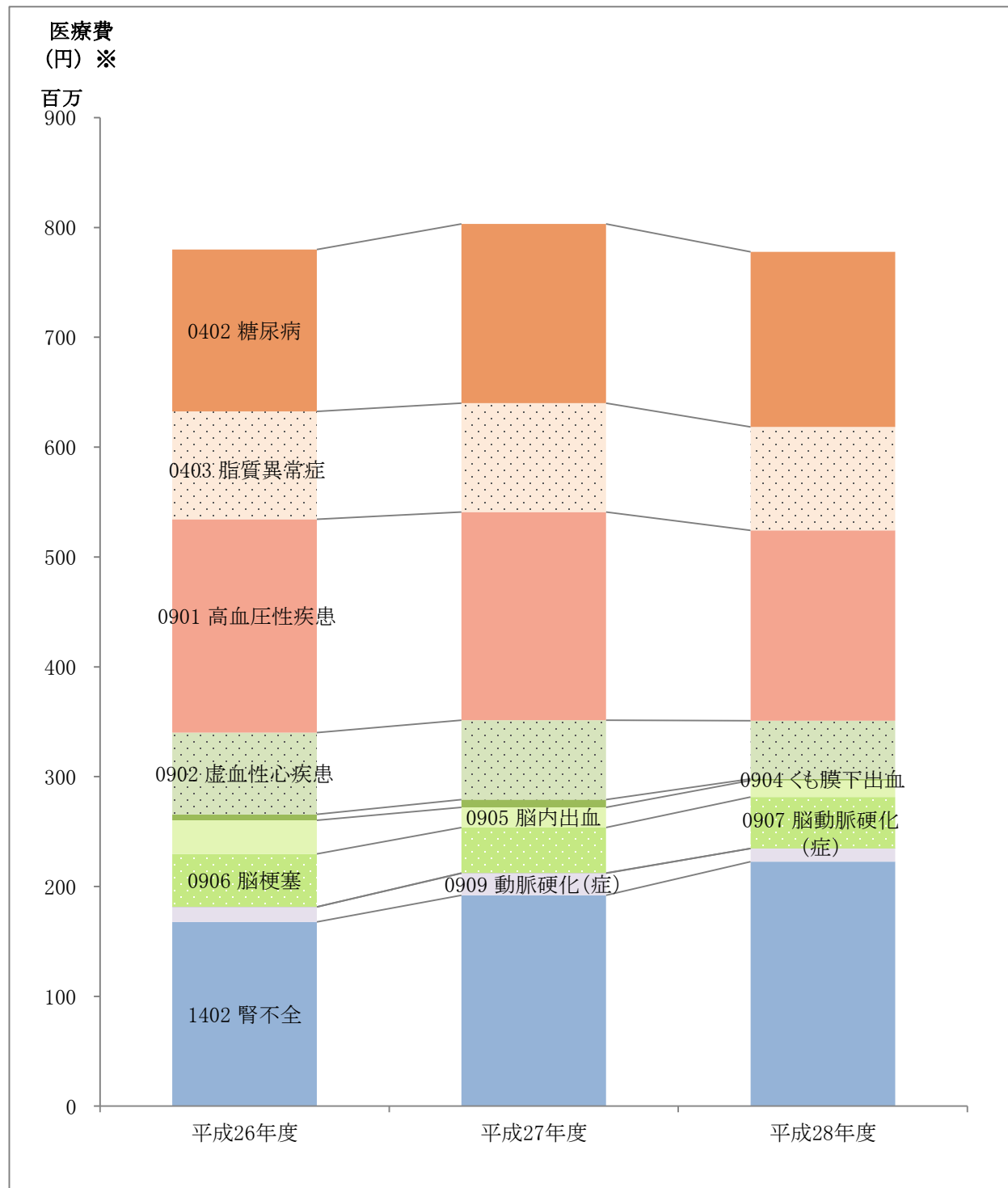
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【生活習慣病疾病別 医療費統計】



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を0歳～999歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

第3章 特定健康診査の実施状況

1. 特定健康診査の受診率

平成20年度から平成29年度における、特定健康診査の受診状況等は以下の通りである。

【特定健康診査受診率及び目標値】

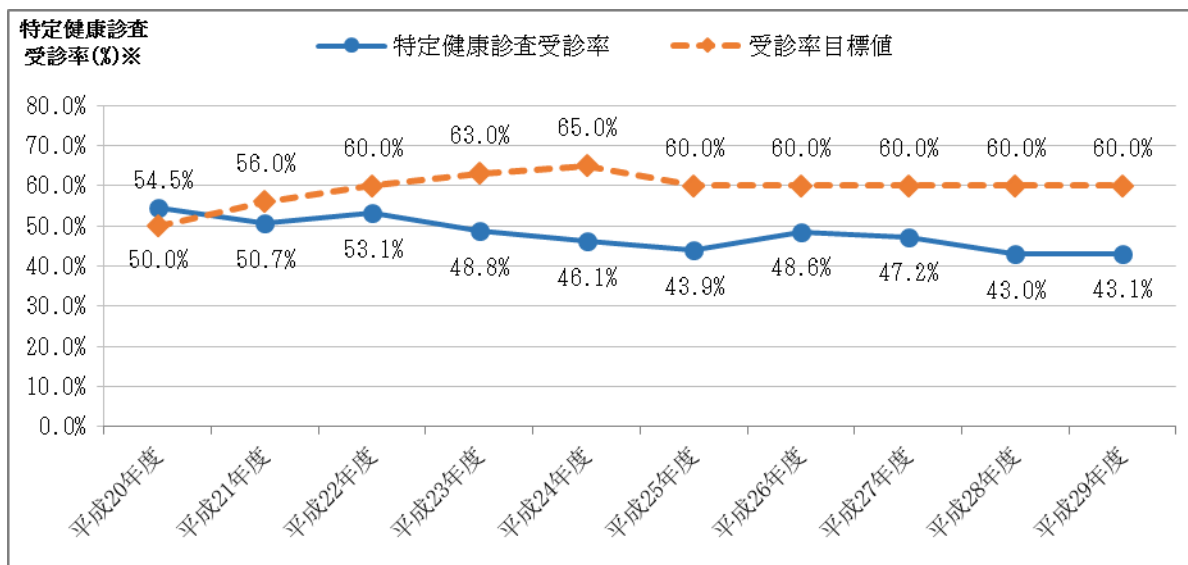
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
特定健康診査対象者数(人)	6,571	6,697	6,639	6,656	7,119
特定健康診査受診者数(人)	3,579	3,396	3,527	3,248	3,281
特定健康診査受診率(%)※	54.5%	50.7%	53.1%	48.8%	46.1%
受診率目標値(%)	50.0%	56.0%	60.0%	63.0%	65.0%

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
特定健康診査対象者数(人)	7,824	6,700	7,237	7,241	7,448
特定健康診査受診者数(人)	3,432	3,254	3,419	3,117	3,210
特定健康診査受診率(%)※	43.9%	48.6%	47.2%	43.0%	43.1%
受診率目標値(%)	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%

特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。

※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

【特定健康診査受診率及び目標値】



特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。

※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

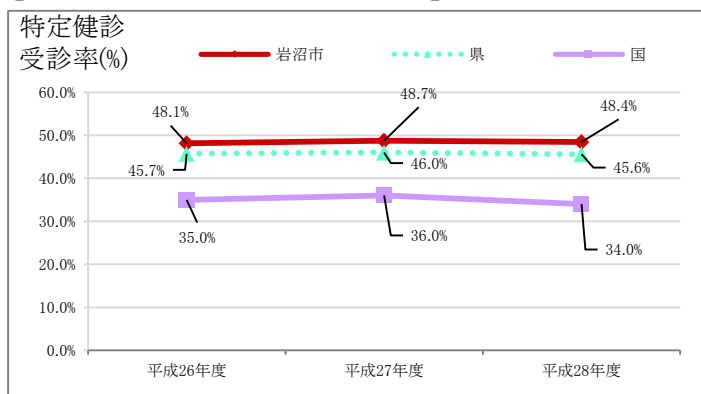
本市の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率48.4%は平成26年度48.1%より0.3ポイント上昇している。

【年度別 特定健康診査受診率】

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
岩沼市	48.1%	48.7%	48.4%
県	45.7%	46.0%	45.6%
国	35.0%	36.0%	34.0%

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

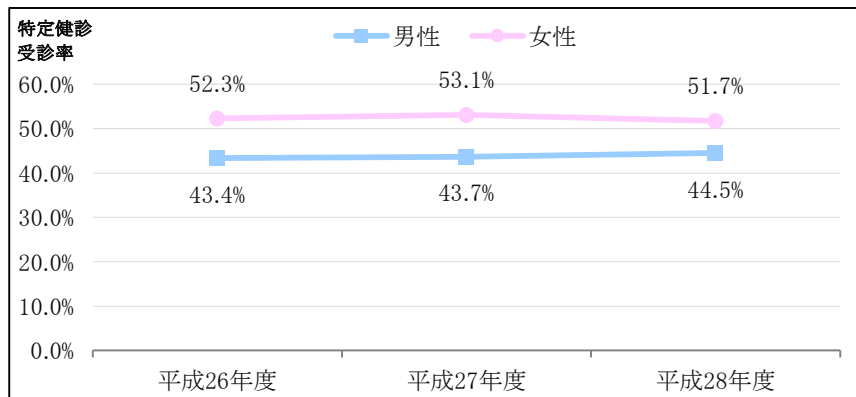
【年度別 特定健康診査受診率】



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率44.5%は平成26年度43.4%より1.1ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率51.7%は平成26年度52.3%より0.6ポイント低下している。

【年度・男女別 特定健康診査受診率】



出典:国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

2. 特定健康診査結果の分析

(1) 有所見者割合

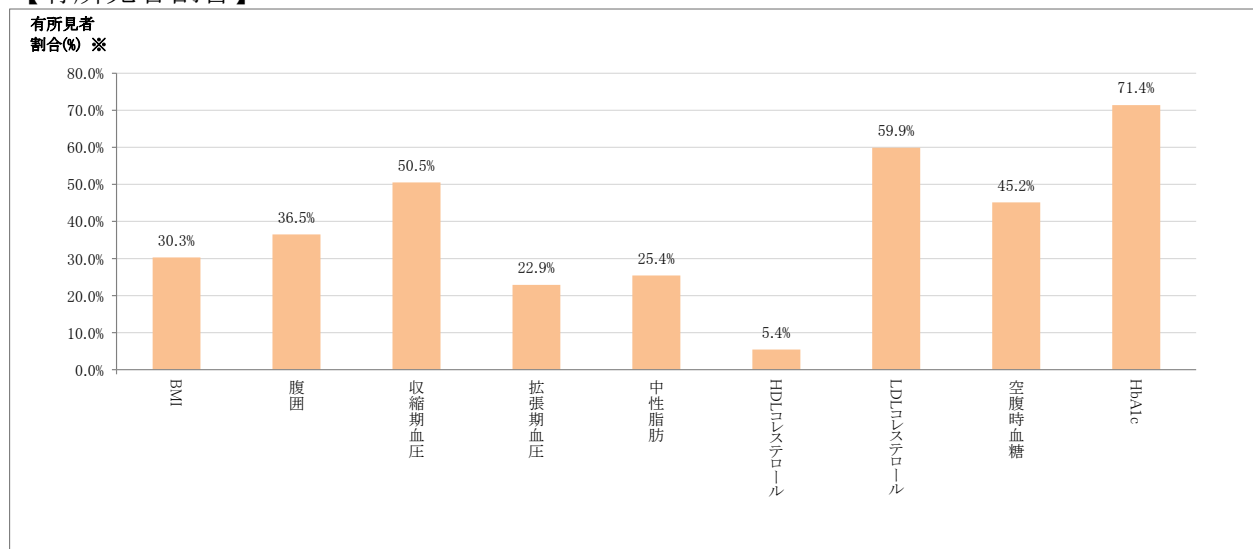
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の有所見者割合は以下の通りである。

【有所見者割合】

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	3,110	3,100	3,110	3,110
有所見者数(人) ※	942	1,132	1,572	712
有所見者割合(%) ※	30.3%	36.5%	50.5%	22.9%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	3,106	3,108	3,107	31	3,096
有所見者数(人) ※	789	169	1,861	14	2,210
有所見者割合(%) ※	25.4%	5.4%	59.9%	45.2%	71.4%

【有所見者割合】



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、
 中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者の有所見者割合を年度別に示す。

【年度別 有所見者割合】

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
BMI	対象者数(人) ※	3,079	3,132	3,110
	有所見者数(人) ※	887	892	942
	有所見者割合(%) ※	28.8%	28.5%	30.3%
腹囲	対象者数(人) ※	3,072	3,125	3,100
	有所見者数(人) ※	1,010	1,035	1,132
	有所見者割合(%) ※	32.9%	33.1%	36.5%
収縮期血圧	対象者数(人) ※	3,079	3,132	3,110
	有所見者数(人) ※	1,397	1,450	1,572
	有所見者割合(%) ※	45.4%	46.3%	50.5%
拡張期血圧	対象者数(人) ※	3,079	3,132	3,110
	有所見者数(人) ※	665	661	712
	有所見者割合(%) ※	21.6%	21.1%	22.9%
中性脂肪	対象者数(人) ※	3,079	3,128	3,106
	有所見者数(人) ※	719	756	789
	有所見者割合(%) ※	23.4%	24.2%	25.4%
HDLコレステロール	対象者数(人) ※	3,079	3,128	3,108
	有所見者数(人) ※	164	141	169
	有所見者割合(%) ※	5.3%	4.5%	5.4%
LDLコレステロール	対象者数(人) ※	3,079	3,128	3,107
	有所見者数(人) ※	1,862	1,851	1,861
	有所見者割合(%) ※	60.5%	59.2%	59.9%
空腹時血糖	対象者数(人) ※	38	31	31
	有所見者数(人) ※	18	7	14
	有所見者割合(%) ※	47.4%	22.6%	45.2%
HbA1c	対象者数(人) ※	3,069	3,116	3,096
	有所見者数(人) ※	2,183	2,250	2,210
	有所見者割合(%) ※	71.1%	72.2%	71.4%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

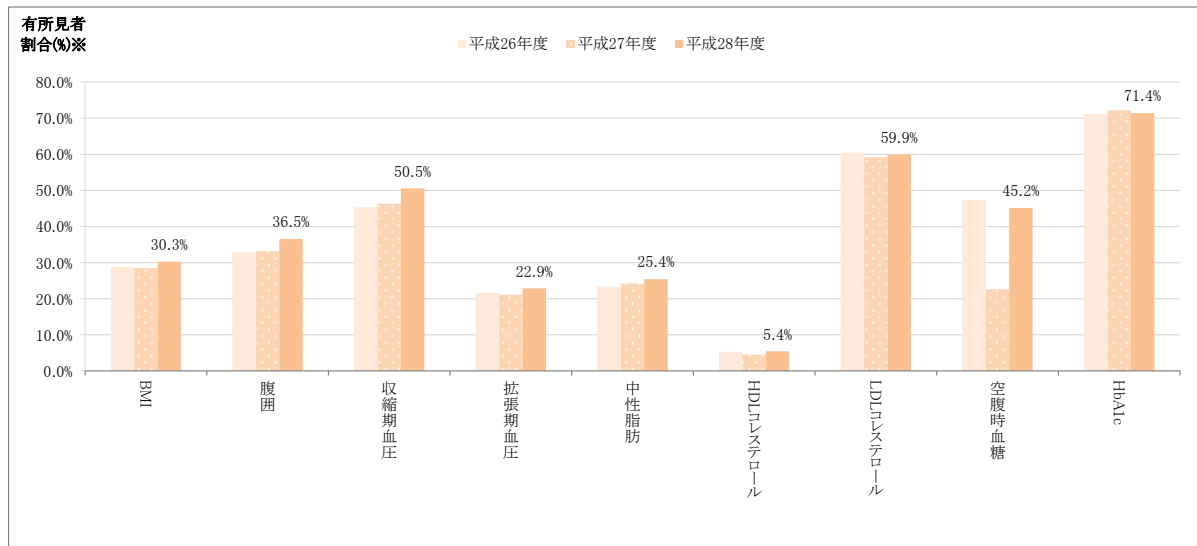
※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、
 中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

【年度別 有所見者割合】



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、
 中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

(2) 質問別回答状況

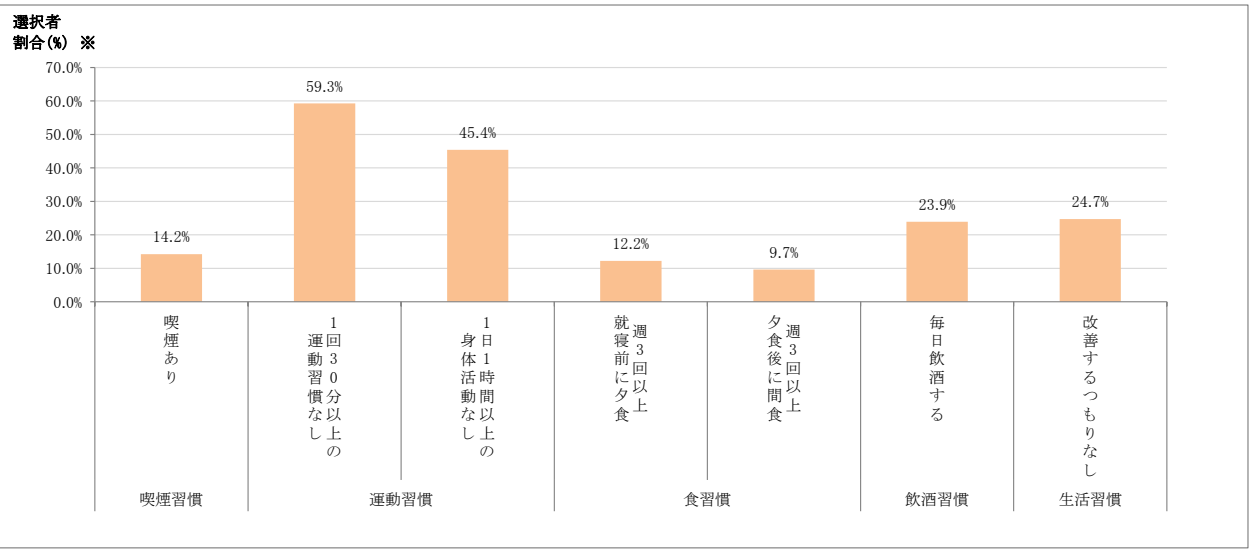
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する質問別回答状況は以下の通りである。

【質問別 回答状況】

	喫煙習慣		運動習慣	
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし	
質問回答者数(人) ※	3,094	3,086	3,087	
選択者数(人) ※	440	1,829	1,401	
選択者割合(%) ※	14.2%	59.3%	45.4%	

	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
質問の選択肢	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	3,083	3,083	3,091	3,081
選択者数(人) ※	377	298	739	761
選択者割合(%) ※	12.2%	9.7%	23.9%	24.7%

【質問別 選択者割合】



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※質問回答者数…質問に回答した人数。
※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。
※選択者割合 …質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり	…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
1回30分以上の運動習慣なし	…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
1日1時間以上の身体活動なし	…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
週3回以上就寝前に夕食	…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
週3回以上夕食後に間食	…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
毎日飲酒する	…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
改善するつもりなし	…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者の喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する質問別回答状況を年度別に示す。

【年度・質問別 回答状況】

			平成26年度	平成27年度	平成28年度
喫煙習慣	喫煙あり	質問回答者数(人) ※	3,076	3,126	3,094
		選択者数(人) ※	438	447	440
		選択者割合(%) ※	14.2%	14.3%	14.2%
運動習慣	1回30分以上の運動習慣なし	質問回答者数(人) ※	3,043	3,094	3,086
		選択者数(人) ※	1,847	1,840	1,829
		選択者割合(%) ※	60.7%	59.5%	59.3%
	1日1時間以上の身体活動なし	質問回答者数(人) ※	3,037	3,092	3,087
		選択者数(人) ※	1,399	1,412	1,401
		選択者割合(%) ※	46.1%	45.7%	45.4%
食習慣	週3回以上就寝前に夕食	質問回答者数(人) ※	3,037	3,093	3,083
		選択者数(人) ※	439	421	377
		選択者割合(%) ※	14.5%	13.6%	12.2%
	週3回以上夕食後に間食	質問回答者数(人) ※	3,037	3,094	3,083
		選択者数(人) ※	298	310	298
		選択者割合(%) ※	9.8%	10.0%	9.7%
飲酒習慣	毎日飲酒する	質問回答者数(人) ※	3,056	3,116	3,091
		選択者数(人) ※	715	743	739
		選択者割合(%) ※	23.4%	23.8%	23.9%
生活習慣	改善するつもりなし	質問回答者数(人) ※	3,036	3,091	3,081
		選択者数(人) ※	800	803	761
		選択者割合(%) ※	26.4%	26.0%	24.7%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

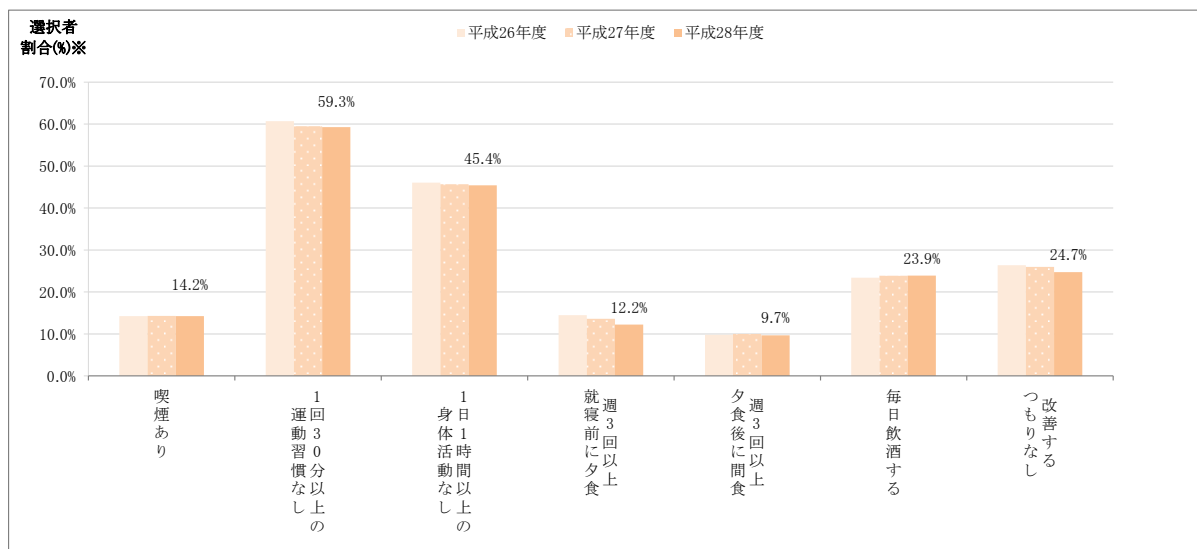
※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

【年度・質問別 選択者割合】



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を以下に示す。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の47.2%である。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の47.8%である。

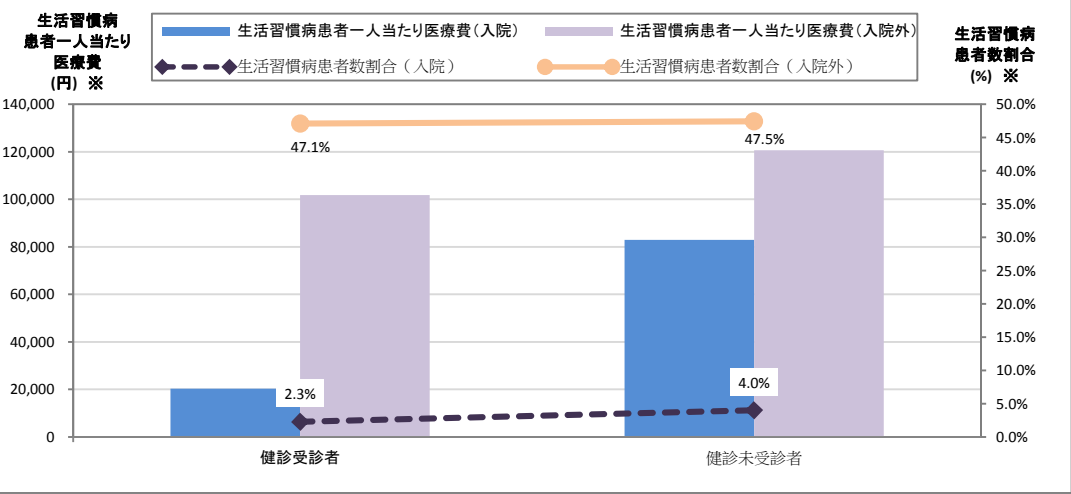
【特定健康診査受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況】

	人数(人)	構成比(%)	生活習慣病医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
健診受診者	3,110	44.3%	1,418,313	149,094,606	150,512,919
健診未受診者	3,903	55.7%	13,018,959	223,447,561	236,466,520
合計	7,013		14,437,272	372,542,167	386,979,439

	生活習慣病患者数 ※						生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
	入院		入院外		合計 ※		入院	入院外	合計
	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)			
健診受診者	70	2.3%	1,465	47.1%	1,468	47.2%	20,262	101,771	102,529
健診未受診者	157	4.0%	1,852	47.5%	1,865	47.8%	82,923	120,652	126,792
合計	227	3.2%	3,317	47.3%	3,333	47.5%	63,600	112,313	116,105

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。
※生活習慣病患者数の合計…入院、入院外の区分けなく集計した実人数。

【特定健康診査受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況】



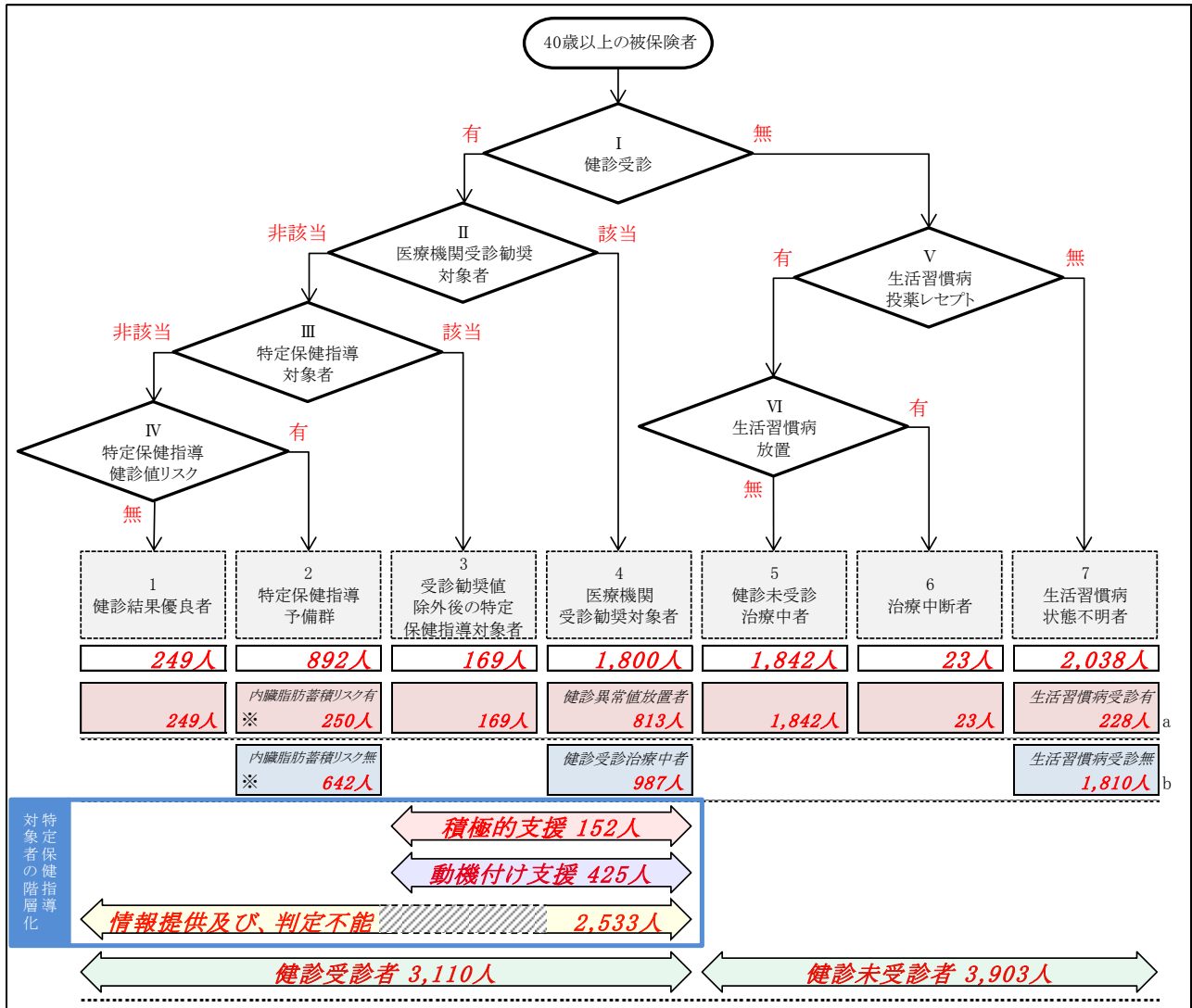
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

(4) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

【特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析】



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

3. 特定健康診査実施状況に基づく課題と対策

主な取り組み、課題と対策は以下の通りである。

特定健康診査に係る主な取り組み

目的	取り組み	概要	実施状況
特定健康診査 受診率の向上	受診勧奨	・無受診者を年代や健診受診歴等、多角的に分析しタイプ別に種類の異なる受診勧奨通知を送付した。 ・通知送付者が健診を受診したかを確認した。	平成28、29年度に実施
	開催日時の増設	平日夜間や土日にも健診を実施した。	平成29年度 平日夜間実施 2回 土日実施 4回
	受診啓発グッズの配布	受診啓発チラシ入りポケットティッシュを配布した。	平成29年度実施
	未受診者健診の実施	・未受診者対策検討会を実施した。 ・未受診者を対象とした健診を実施した。	平成29年度 未受診対策検討会実施 4回 未受診者健診実施 2回 (うち1回は土曜日)

特定健康診査実施状況に基づく課題と対策

	課題	対策
1	平成28年度健診受診率48.4%は、平成29年度到達目標値である60%に未到達である	・平日夜間や土日の健診事業を開催 ・受診者へがん検診受診補助券を配布 ・オプション検査を導入 ・初回受診となる対象者への啓発
2	HbA1c、LDLコレステロール、収縮期血圧の有所見者割合が高い	健診結果を活用することで受診者に生活習慣を見直すきっかけを提供する
3	問診票の回答状況では「喫煙有り」14.2%、「毎日飲酒する」23.9%、生活習慣では「改善するつもりなし」24.7%と生活習慣病につながる一因となっている。	ポピュレーションアプローチで生活習慣改善を促す取り組みを行う

第4章 特定保健指導の実施状況

1. 特定保健指導の実施率

本市の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。平成28年度の特定保健指導実施率37.7%は平成26年度20.5%より17.2ポイント増加している。

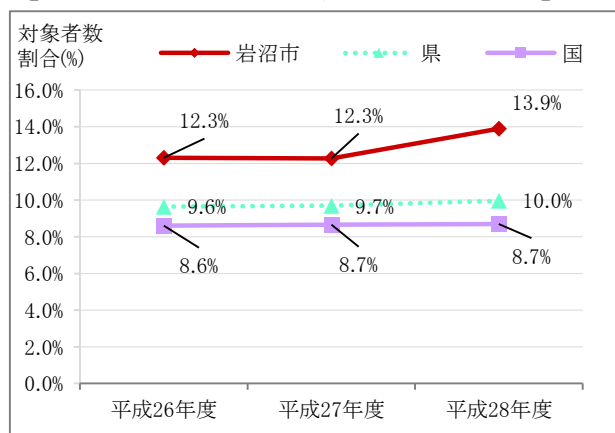
【年度別 特定保健指導実施状況】

	動機付け支援 対象者数割合			積極的支援 対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導 実施率		
	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度
岩沼市	12.3%	12.3%	13.9%	5.5%	4.6%	4.8%	17.8%	16.9%	18.7%	20.5%	15.6%	37.7%
県	9.6%	9.7%	10.0%	4.3%	4.1%	4.0%	13.9%	13.8%	14.0%	16.5%	16.9%	17.9%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	11.9%	19.9%	20.2%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

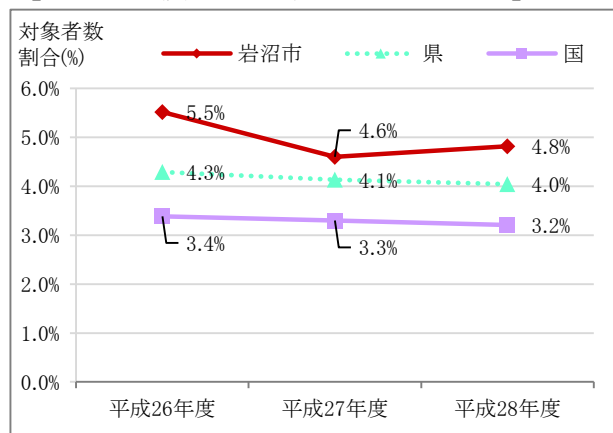
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」、岩沼市データは法定報告値

【年度別 動機付け支援対象者数割合】



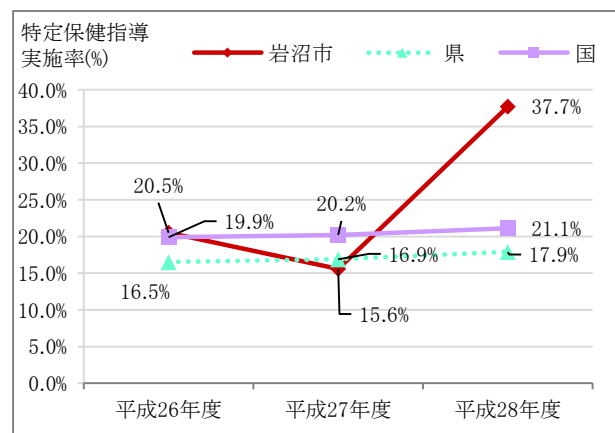
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

【年度別 積極的支援対象者数割合】



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

【年度別 特定保健指導実施率】

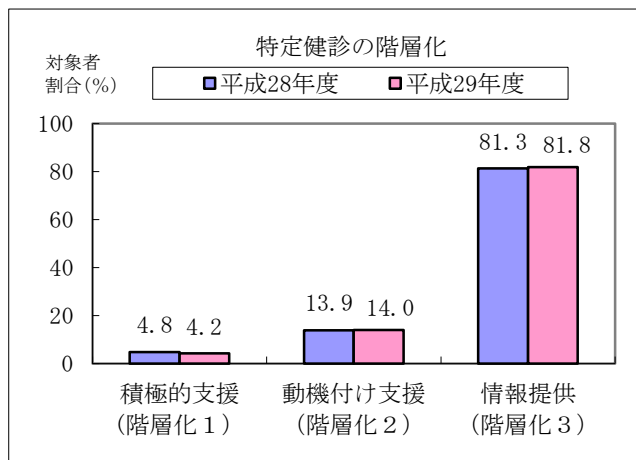


出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(1) 特定保健指導階層化と特定保健指導参加者状況

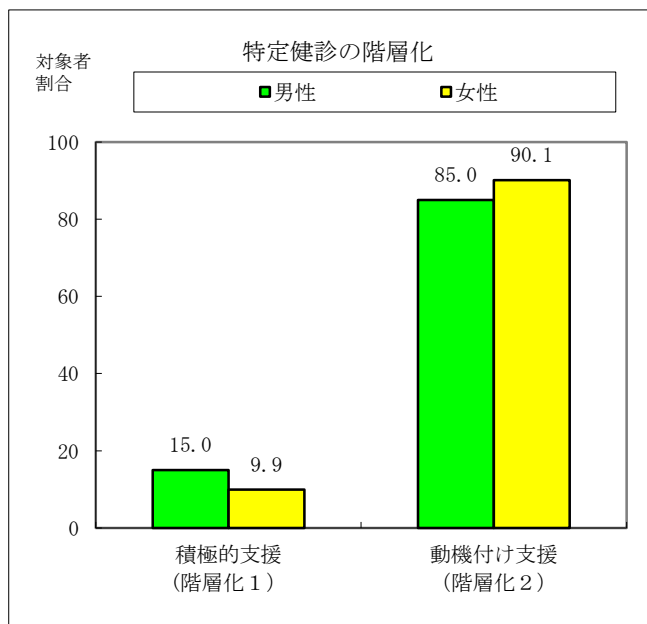
特定健診結果での階層化の割合は、平成28年度の「階層化1」は4.8%、「階層化2」は13.9%。「階層化3」は81.3%であった。「階層化3」にはすでに医療機関に通院している方も含まれている。

【特定健診の階層化】



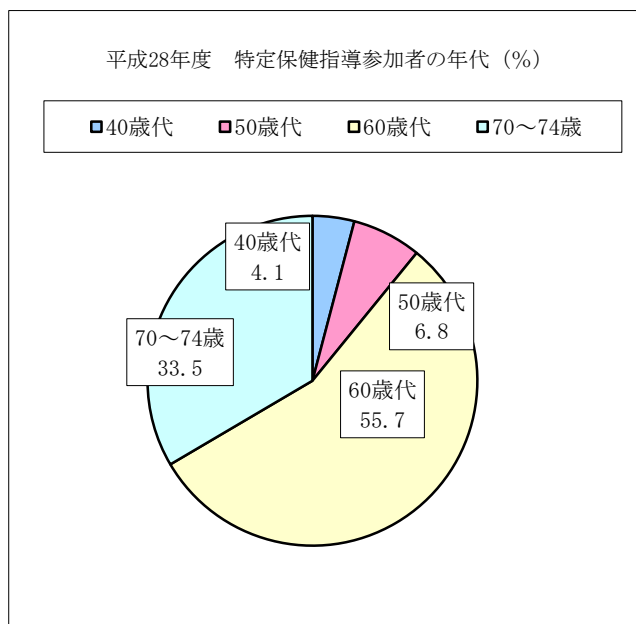
出典:岩沼市健康増進課

【平成28年度 保健指導参加者の階層化（性別構成）】



出典:岩沼市健康増進課

【平成28年度 特定保健指導参加者の年代(%)】



出典:岩沼市健康増進課

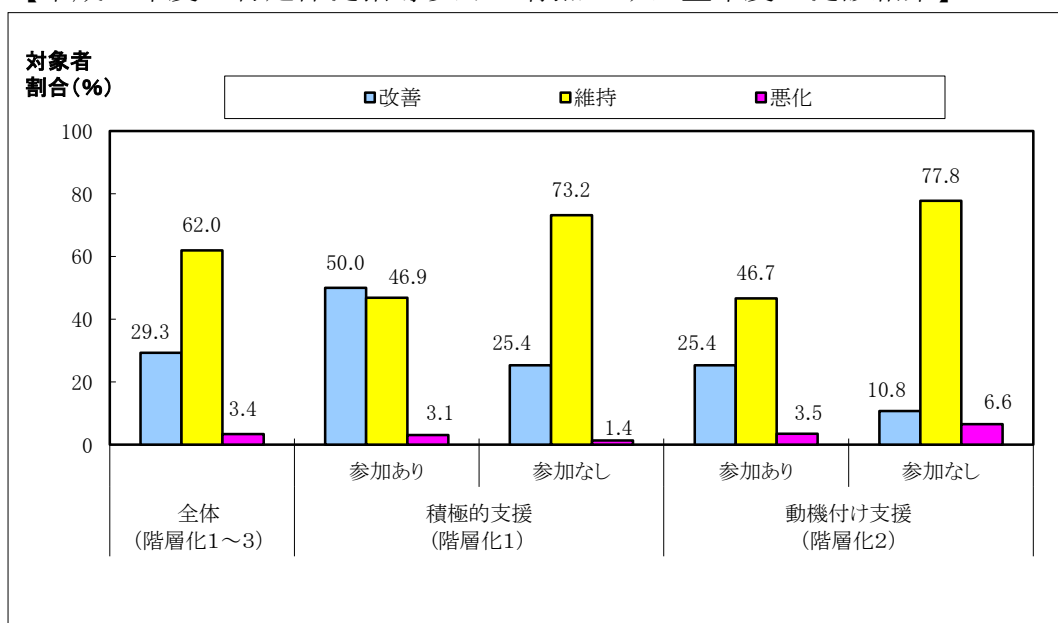
(2) 特定保健指導参加の有無でみた階層化の変化

平成28年度の特定保健指導参加の有無で平成29年度の階層化の変化を「改善」「維持」「悪化」に分けて比較した。

平成28年度と平成29年度ともに特定健診を受けた人は2,346人で、そのうち平成28年度特定保健指導不参加者の翌年度の階層化をみると、「改善」の割合よりも「維持」の割合が高かった。同様に特定保健指導参加者では積極的支援参加者では「改善」、動機付け支援参加者では「維持」の割合が高かった。

「改善」割合の差を「参加者」と「不参加者」で比較すると、特定保健指導の参加者のほうが改善した割合が高かった。「積極的支援参加者」では24.6ポイント、「動機付け支援参加者」では14.6ポイント改善がみられ、特に個別の健康問題に寄り添った指導を行った積極的支援参加者のほうが改善率が高かった。

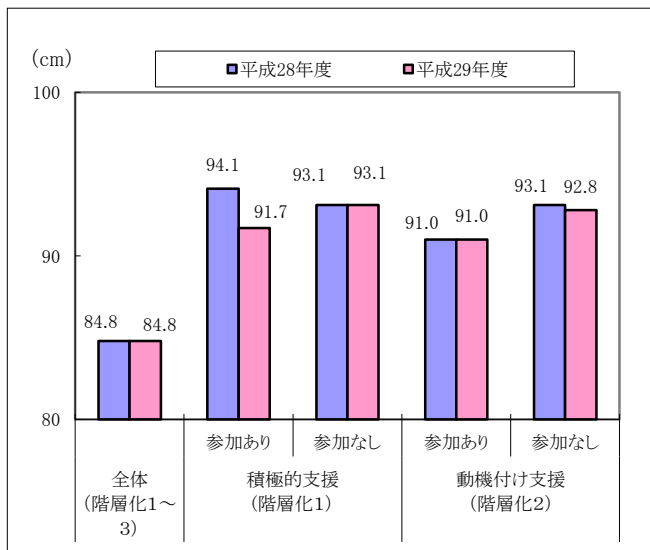
【平成28年度 特定保健指導参加の有無でみた翌年度の健診結果】



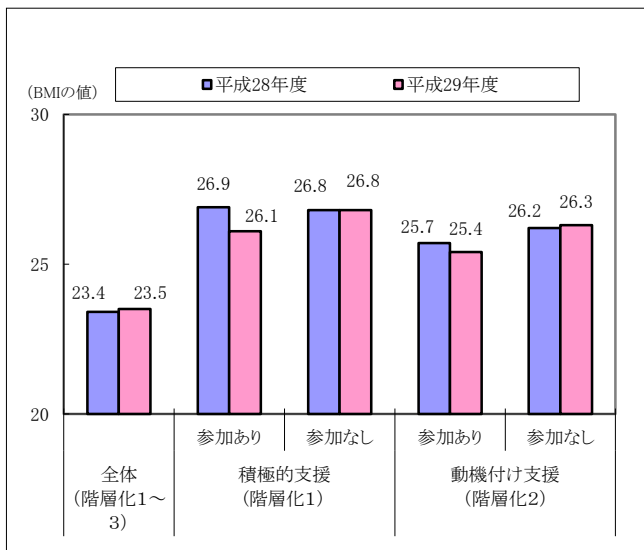
出典: 岩沼市健康増進課

特定保健指導の有無でみた健診結果の平均値比較を以下に示す。

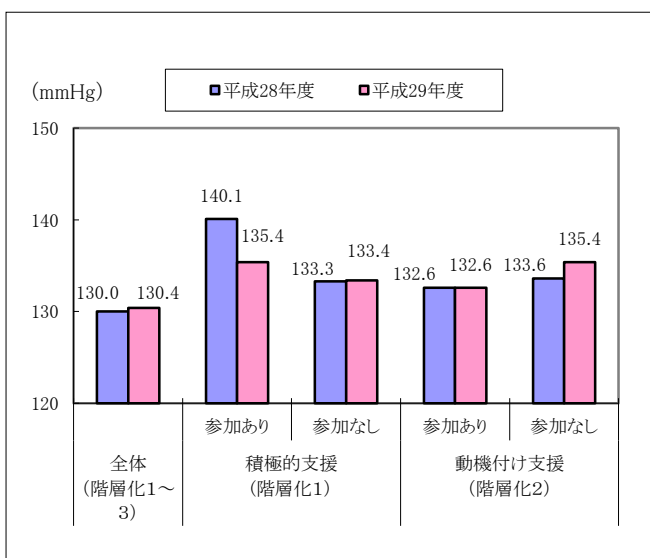
【平均値の比較（腹囲）】



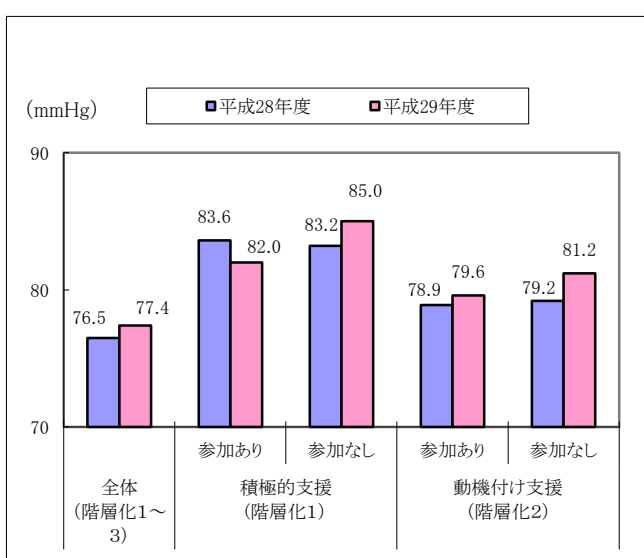
【平均値の比較（BMI）】



【平均値の比較（最高血圧）】

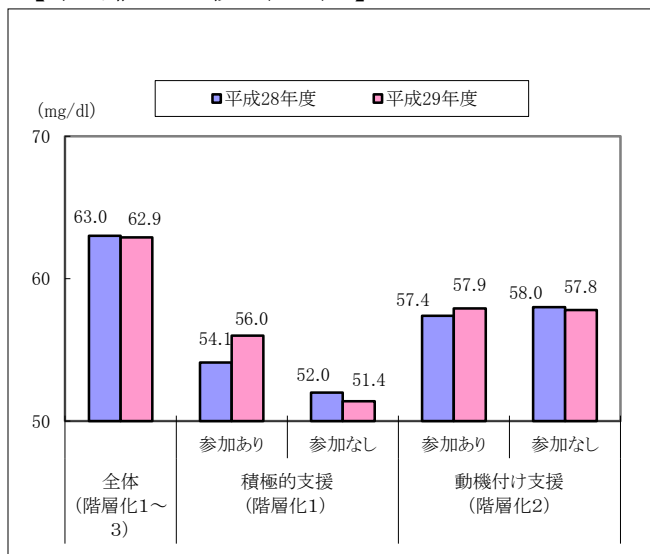


【平均値の比較（最低血圧）】

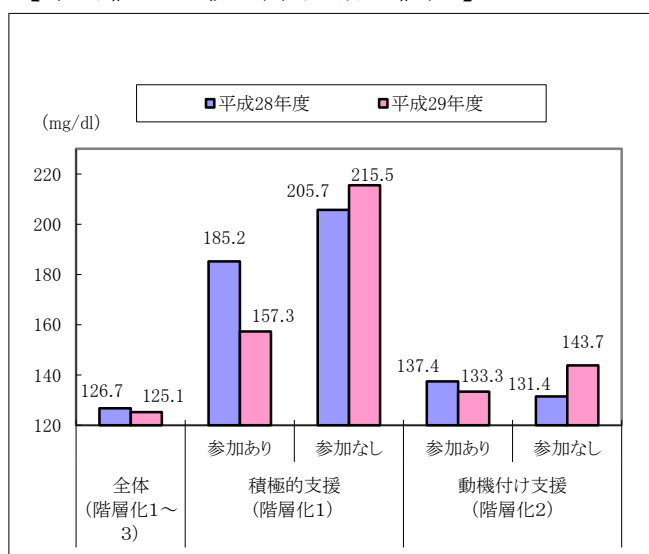


出典：岩沼市健康増進課

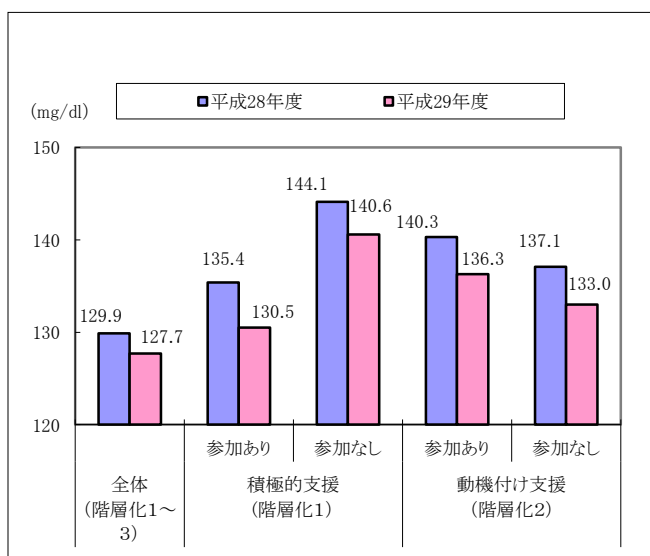
【平均値の比較（HDL）】



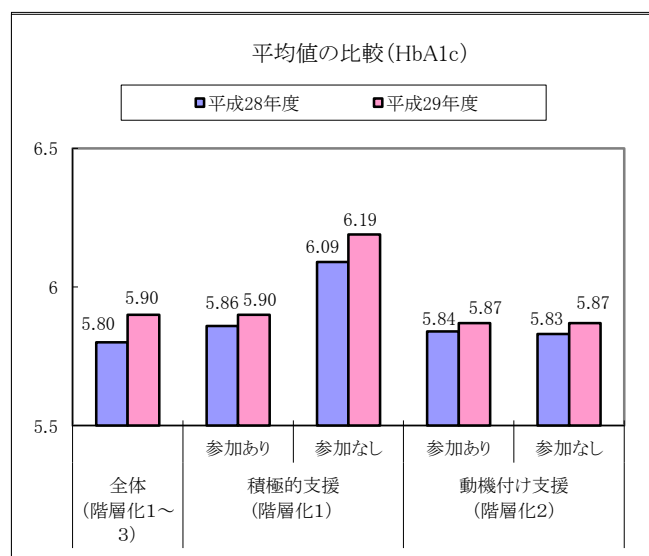
【平均値の比較（中性脂肪値）】



【平均値の比較（LDL）】



【平均値の比較（HbA1c）】



出典：岩沼市健康増進課

2. 特定保健指導の効果分析

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示す。平成28年度基準該当21.1%は平成26年度18.4%より上昇しており、平成28年度予備群該当11.8%は平成26年度10.8%より上昇している。

【年度別 メタボリックシンドローム該当状況】

年度	健診受診者数(人)
平成26年度	3,079
平成27年度	3,133
平成28年度	3,110

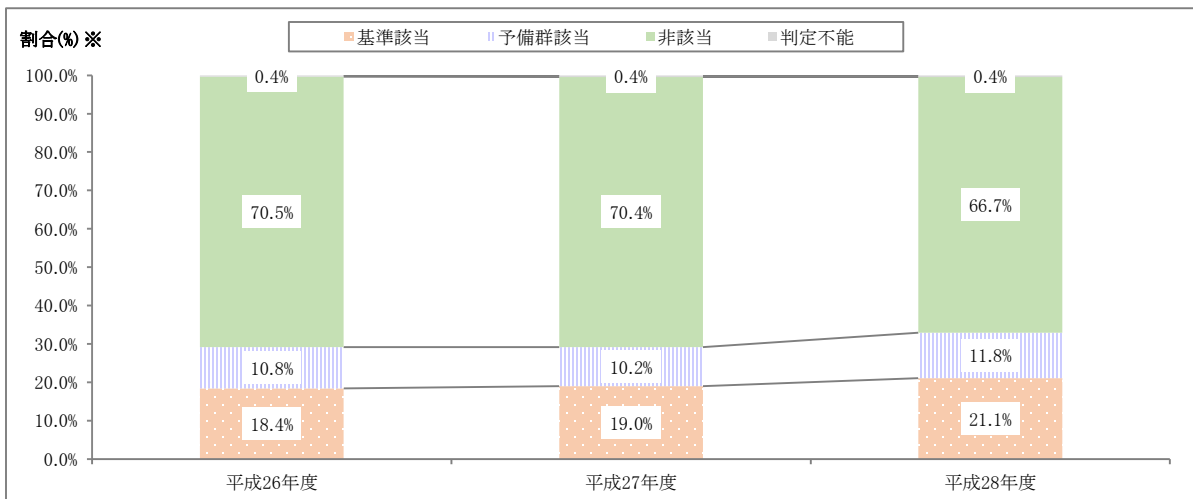
年度	基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成26年度	566	18.4%	331	10.8%	2,171	70.5%	11	0.4%
平成27年度	595	19.0%	319	10.2%	2,205	70.4%	14	0.4%
平成28年度	655	21.1%	368	11.8%	2,074	66.7%	13	0.4%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

【年度別 メタボリックシンドローム該当割合】



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

3. 特定保健指導対象者の分析

(1) 保健指導レベル該当状況

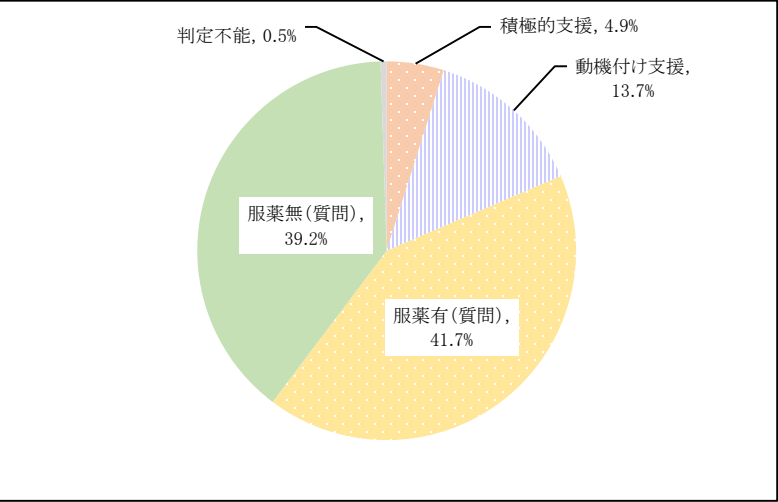
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、保健指導レベル該当状況は以下の通りである。積極的支援対象者は152人、動機付け支援対象者は425人である。

【保健指導レベル該当状況】

	健診受診者数 (人)	該当レベル					
		特定保健指導対象者(人)			情報提供		判定不能
			積極的支援	動機付け支援	服薬有(質問)	服薬無(質問)	
該当者数(人)	3,110	577	152	425	1,298	1,219	16
割合※(%)	-	18.6%	4.9%	13.7%	41.7%	39.2%	0.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

【保健指導レベル該当割合】



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※特定保健指導の対象者(階層化の基準)

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血压		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	2つ以上該当	あり なし	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当			
上記以外でBMI ≥25	3つ該当	あり なし	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当			
	1つ該当			

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。
※追加リスクの基準値は以下の通りである。
①血糖:空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c(NGSP値)5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)
②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満
③血压:収縮期血压130mmHg以上、または拡張期血压85mmHg以上
※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。
※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

また、年齢階層別保健指導レベル該当状況は以下の通りである。

【年齢階層別 保健指導レベル該当状況】

年齢階層	健診受診者数(人)		特定保健指導対象者数(人)			
			積極的支援		動機付け支援	
			人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
40歳 ～ 44歳	107	28	17	15.9%	11	10.3%
45歳 ～ 49歳	121	37	30	24.8%	7	5.8%
50歳 ～ 54歳	109	31	23	21.1%	8	7.3%
55歳 ～ 59歳	168	36	24	14.3%	12	7.1%
60歳 ～ 64歳	473	91	57	12.1%	34	7.2%
65歳 ～ 69歳	1,213	198	1	0.1%	197	16.2%
70歳 ～	919	156	0	0.0%	156	17.0%
合計	3,110	577	152	4.9%	425	13.7%

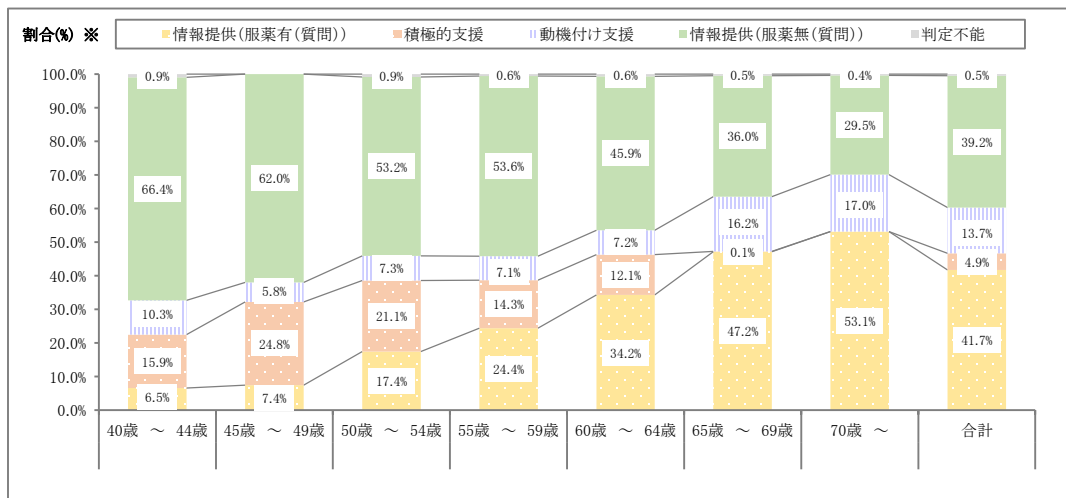
年齢階層	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)			
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
40歳 ～ 44歳	107	7	6.5%	71	66.4%	1	0.9%
45歳 ～ 49歳	121	9	7.4%	75	62.0%	0	0.0%
50歳 ～ 54歳	109	19	17.4%	58	53.2%	1	0.9%
55歳 ～ 59歳	168	41	24.4%	90	53.6%	1	0.6%
60歳 ～ 64歳	473	162	34.2%	217	45.9%	3	0.6%
65歳 ～ 69歳	1,213	572	47.2%	437	36.0%	6	0.5%
70歳 ～	919	488	53.1%	271	29.5%	4	0.4%
合計	3,110	1,298	41.7%	1,219	39.2%	16	0.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

【年齢階層別 保健指導レベル該当割合】



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

平成26年度から平成28年度における、保健指導レベル該当状況を年度別に示す。平成28年度積極的支援152人は平成26年度175人より減少しており、平成28年度動機付け支援425人は平成26年度363人より増加している。

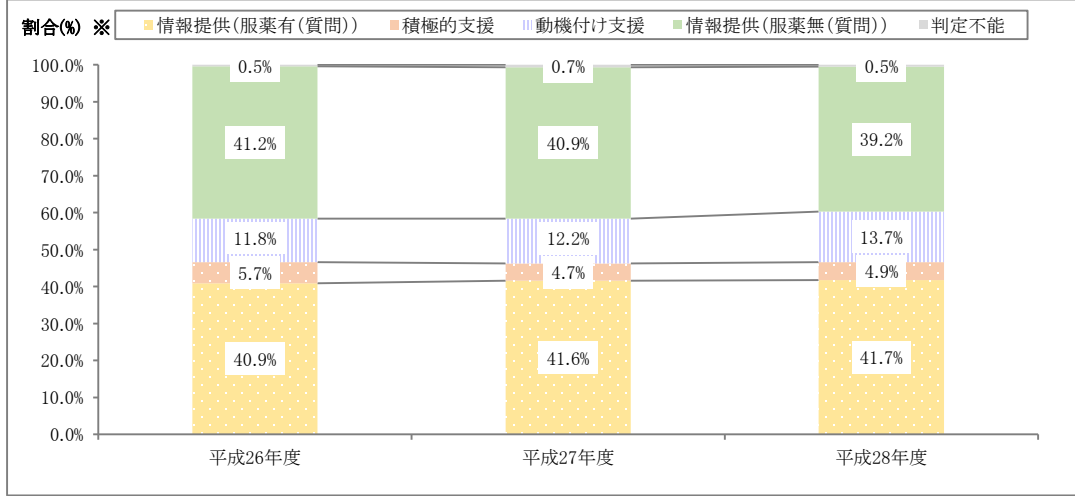
【年度別 保健指導レベル該当状況】

年度	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)				
			積極的支援		動機付け支援	
			人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成26年度	3,079	538	175	5.7%	363	11.8%
平成27年度	3,133	528	147	4.7%	381	12.2%
平成28年度	3,110	577	152	4.9%	425	13.7%

年度	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)			
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成26年度	3,079	1,259	40.9%	1,268	41.2%	14	0.5%
平成27年度	3,133	1,302	41.6%	1,282	40.9%	21	0.7%
平成28年度	3,110	1,298	41.7%	1,219	39.2%	16	0.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

【年度別 保健指導レベル該当割合】



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

(2) 特定保健指導リスク因子別該当状況

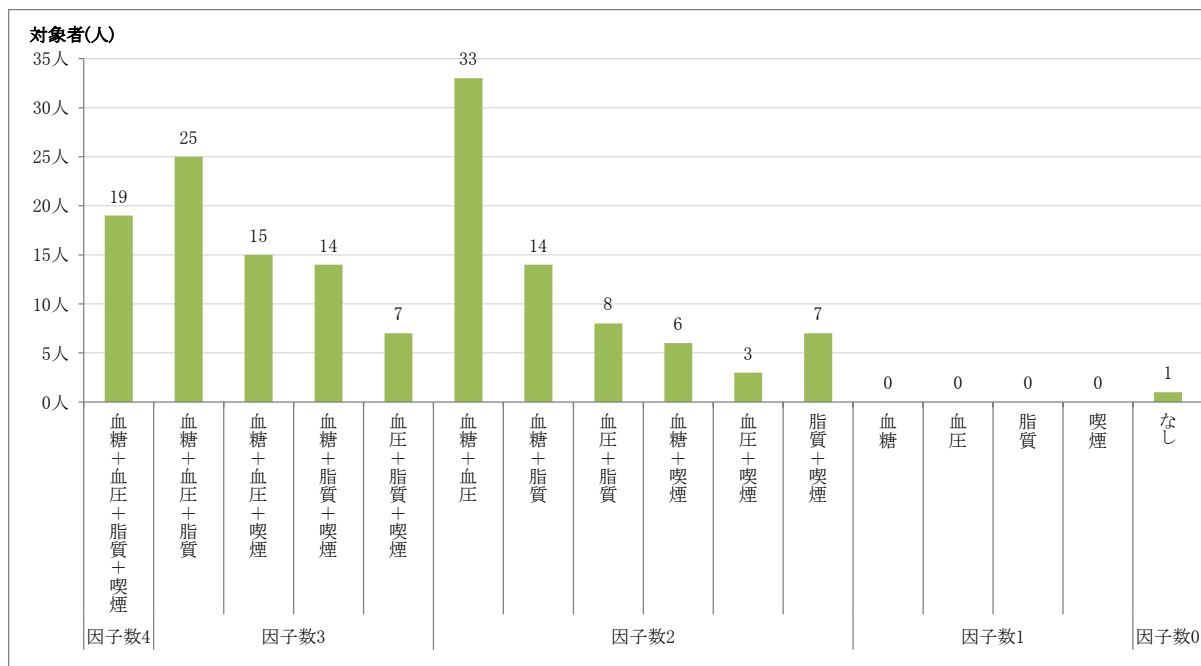
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況を以下に示す。

【特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況】

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			577人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	19人	152人 26%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	25人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	15人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	14人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	7人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	33人	
	●		●			血糖＋脂質	14人	
		●	●			血圧＋脂質	8人	
	●			●		血糖＋喫煙	6人	
		●		●		血圧＋喫煙	3人	
			●	●		脂質＋喫煙	7人	
	●				因子数1	血糖	0人	
		●				血圧	0人	
			●			脂質	0人	
				●		喫煙	0人	
					因子数0	なし	1人	
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	14人	425人 74%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	62人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	16人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	12人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	4人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	89人	
	●		●			血糖＋脂質	26人	
		●	●			血圧＋脂質	9人	
	●			●		血糖＋喫煙	11人	
		●		●		血圧＋喫煙	2人	
			●	●		脂質＋喫煙	2人	
	●				因子数1	血糖	101人	
		●				血圧	62人	
			●			脂質	15人	
				●		喫煙	0人	
					因子数0	なし	0人	

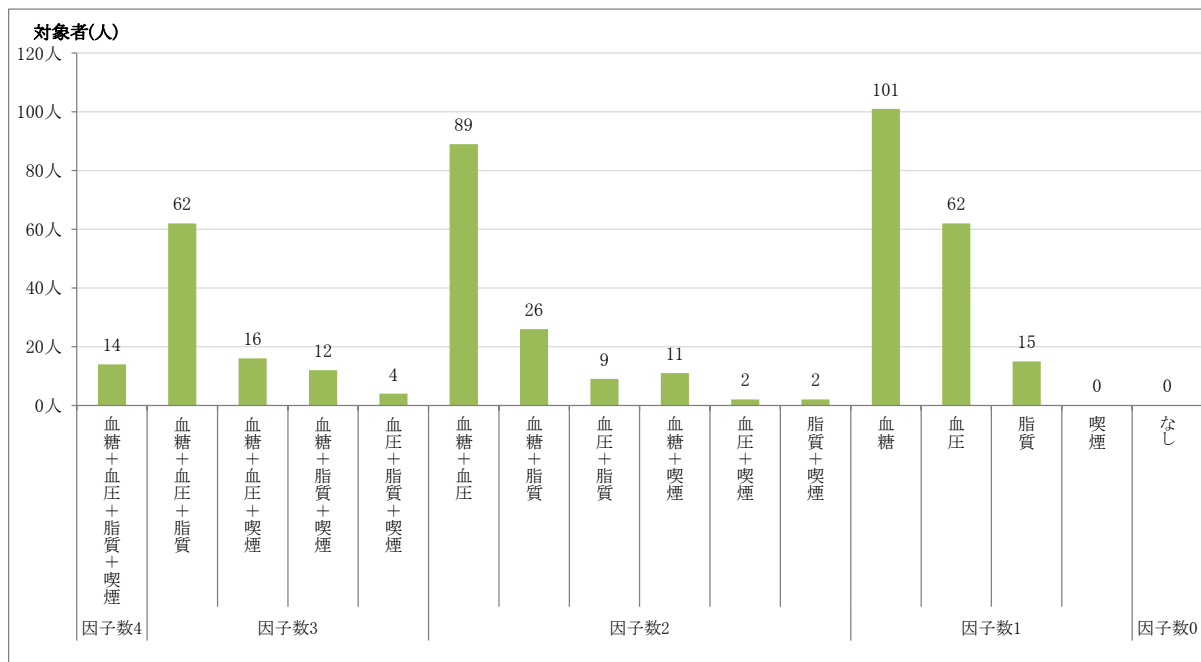
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。
リスク判定の詳細は以下の通りとする。
①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

【積極的支援対象者のリスク因子別該当状況】



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

【動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況】



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(3) 特定保健指導対象者と非対象者の医療費の比較

平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)の積極的支援及び動機付け支援の該当者を「対象者」とし、情報提供の該当者を「非対象者」とする。ただし、情報提供の該当者には質問票で服薬有と回答した者が含まれるため、「非対象者」を「非対象者(服薬有)」と「非対象者(服薬無)」に分ける。特定保健指導により「対象者」の生活習慣改善を促し、服薬開始を防ぐことが重要である。

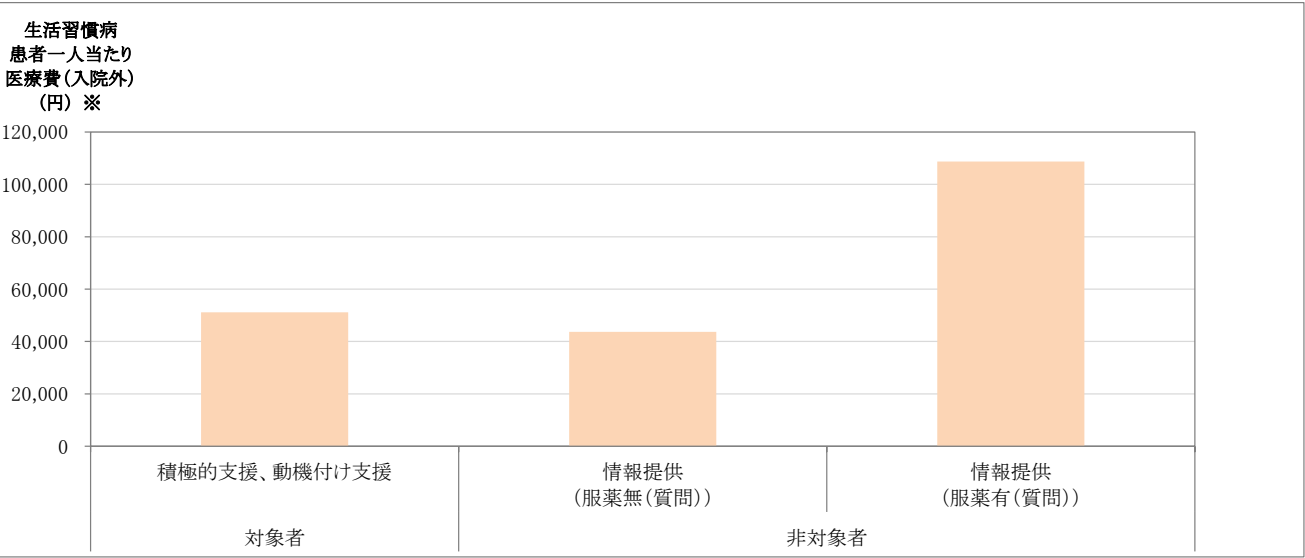
【特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病医療費】

		人数(人)	生活習慣病医療費(円) ※			生活習慣病患者数(人) ※		
			入院	入院外	合計	入院	入院外	合計 ※
対象者	積極的支援、動機付け支援	577	45,487	3,529,404	3,574,891	4	69	70
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	1,219	553,548	4,673,595	5,227,143	14	107	109
	情報提供 (服薬有(質問))	1,298	804,917	138,719,565	139,524,482	50	1,276	1,276

		人数(人)	生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
対象者	積極的支援、動機付け支援	577	11,372	51,151	51,070
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	1,219	39,539	43,678	47,955
	情報提供 (服薬有(質問))	1,298	16,098	108,714	109,345

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。
※生活習慣病患者数の合計…入院、入院外の区別なく集計した実人数。

【特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)】



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

4. 特定保健指導実施状況に基づく課題と対策

主な取り組み、課題と対策は以下の通りである。

特定保健指導に係る主な取り組み

目的	取り組み	概要	実施状況
特定保健指導 実施率の向上	利用勧奨	・健診結果を郵送ではなく、会場にて手渡しにした。 ・通知による利用勧奨の他、電話による利用勧奨も実施した。	平成28年度より実施。前年より22.1%上昇した。
	開催会場の増設	これまでの保健センターのみの開催から、地域ごとの会場で開催に変更した。 (東部地区・西部地区・中央地区)	同上
	開催日時の増設	土曜日や夜間にも開催日時を設定した。	土曜開催2回 夜間開催1回
生活習慣改善 の確認と継続 のための動機 付け	血糖測定会の実施	中間セミナーのメニューに簡易血糖測定を導入した。 (積極的支援のみ)	平成29年から実施。 利用者:11名
	身体活動量測定機の導入	ライフコーダを利用し、身体活動量を測定した。 (積極的支援のみ)	平成28年度から実施。
	体組成計の導入	体重から体脂肪率や筋肉量、内臓脂肪といったからだの組成を分析し、初回からの変化を確認しながら保健指導を実施した。	平成28年度から参加者全員に実施。

特定保健指導実施状況に基づく課題と対策

	課題	対策
1	上記取り組みにより実施率は向上したが、目標値である60%には到達していない。	利用勧奨の方法について、現在の通知や電話の内容の他、健診会場においても周知し、より多くの対象者が利用に繋がるようにする。
2	特定保健指導対象者数の割合が、国や県よりも多い。	特定保健指導実施者は未実施と比較して翌年の健診データが改善または維持できている割合が高いことから、実施率向上に向けた取り組みを強化していく。

第5章 事業の実施内容と評価方法

1. 特定健康診査

岩沼市国民健康保険第2期データヘルス計画における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

(1) 特定健康診査受診率向上事業

【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。

【実施内容】

- ・平日夜間、土日の健診事業開催
- ・受診者へ、がん検診受診補助券を配布することにより、がん検診も含めた受診率向上対策を実施
- ・受診率向上につながる検査項目導入の検討
- ・オプション検査（前立腺がん検査、貧血検査）の導入
- ・受診啓発グッズの配布など

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
・対象者に受診券の送付 100%	短期	受診率前年対比 2%向上	事業対象者のうち特定健康診査を受診した人数より確認する。
・未受診者への勧奨通知 100%	中長期	特定健康診査受診率 53%	特定健康診査受診率を確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度 ～ 平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備					←→							
		指導実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定										←→		
		効果確認										←→		
	A(改善)	改善計画										←→		
	P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)										←→		
実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

2. 特定保健指導

岩沼市国民健康保険第2期データヘルス計画における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

(1) 特定保健指導利用率向上事業

【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、手紙等で行う。

【事業内容】

- ・地域の身近な会場（市内3ヶ所）で開催
- ・健診結果手渡し方式の継続
- ・健診会場にて特保判定の流れの周知と利用啓発の実施
- ・個別案内通知の他、電話による利用勧奨
- ・指導開催日毎の事前通知
- ・血糖測定会の開催
- ・取り組み効果を客観的に見られるよう、血圧・体重・腹囲測定のほか、インボディ（体組成計）や活動量計の活用

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標		評価方法
・対象者に利用券の送付 100% ・新規対象者への電話等での勧奨率 80%	短期	特定保健指導利用率前年対比 2%向上	特定保健指導利用率の確認
	中長期	対象者の指導利用率 35%	特定保健指導利用率の確認

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度 ～ 平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備												
		指導実施												
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
	P(計画)	実施計画策定(平成31年度)												
実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

1. 個人情報の保護

(1) 個人情報保護関係規定の遵守

個人情報の保護に関する法律及び同法に基づくガイドライン等に準じて、厳格な運用管理を行い、役員・職員の義務(データの正確性の確保、漏洩防止措置、従業員の監督、委託先の監督)について周知を図る。

また、外部委託を行う場合は個人情報の厳重な管理や、目的外使用の禁止等を契約書に明示し、委託先の契約遵守状況を管理する。

(2) データの管理

特定健康診査・特定保健指導結果のデータの保存年限は原則5年とし、保存期間経過後適切に破棄する。また、他の医療保険に異動する等で被保険者でなくなった場合は、異動年度の翌年度末まで保管し、その後適切に破棄する。

2. 特定健康診査等実施計画の公表及び周知

法第19条3において、「保険者は、特定健康診査等実施計画を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。」とあるため、広報、ホームページ等で公表し、広く周知を図る。

3. 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

(1) 評価

特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率等について、客観的に評価を行う。

(2) 計画の見直し

計画の見直しについては、毎年度目標の達成状況を評価し、必要に応じて見直しを行うものとする。

4. 事業運営上の留意事項

(1) 各種検(健)診等との連携

特定健康診査の実施に当たっては、健康増進法及び介護保険法に基づき実施する検(健)診・地域支援事業等についても可能な限り連携して実施するものとする。

(2) 健康づくり事業との連携

特定健康診査・特定保健指導の対象となる年代だけでなく、生活習慣病予防のためには、40歳より若い世代へ働きかけ、生活習慣病のリスクの周知や日々の生活スタイルを見直していくことが重要になる。そのためには、19～39歳市民が対象の基本健診や関係部署が実施する保健事業とも連携しながら、生活習慣病予防を推進していく必要がある。

1. 用語解説集

用語		説明
ア 行	アウトプット	事業等に対しての直接的な結果。事業実施投入量。
	アウトカム	アウトプットに対して得られる結果、成果。
	ABO因子不適合	母親と胎児の血液型が異なり(母親O型、胎児A型またはB型)、母体内に抗Aあるいは抗B抗体が産生され、これが胎児血球を攻撃して貧血や新生児溶血性黄疸がおこる等の症状がみられる傷病。後遺症を残す危険性が高いといわれている。
	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	NGSP値	National Glycohemoglobin Standardization Program。それまでのJDS値(日本で決められた条件に従った測定値)にかわり、2012年4月より医療機関で表記されるHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)の国際基準表記。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎機能が低下し、老廃物を十分排泄できず、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。腎機能が極度に低下すると、生命維持のために人工透析や腎臓移植が必要になる。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。

用語		説明
タ行	DPC	医療費支払制度の一つ。正式にはDPC/PDPS（Diagnosis Procedure Combination / Per-Diem Payment System）：診断群分類に基づく1日当たり定額報酬算定制度。入院中に治療した病気の中で最も医療資源を投入した傷病名と診療行為の組み合わせ（診断群分類）毎に厚生労働省が定めた包括評価部分（入院基本料、検査、投薬、注射、画像診断など）と出来高評価部分（手術、胃カメラ、リハビリなど）の合計が医療点数（医療費）となる。包括評価部分は、診断群分類ごとの1日あたり点数×在院日数×医療機関毎に設定された係数で計算される。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導修了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ行	ハイリスクアプローチ	健康状態になんらかの問題があり疾患発生のリスクが高い、とされる対象に絞り込みアプローチを行う考え方。効率的であるが、効果が一部に限定される。
	HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
	BMI（ビーエムアイ）	ボディ・マス・インデックス。肥満度を表す指標。体重(kg)÷身長(m)の2乗で求めた数値を判定基準に照らし合わせ肥満度を判定する。
	PDCAサイクル	事業活動において管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（改善）の4段階を繰り返すことによって継続的に改善を行う。
	ポピュレーションアプローチ	対象を一部に限定しないで集団全体へアプローチし、全体としてリスクを下げていこうという考え方。
マ行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさったり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満（内臓肥満・腹部肥満）に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ行	有所見	検査の結果、何らかの異常（検査基準値を上回っている等）が認められたことをいう。
ラ行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

2. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅰ．感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	R Sウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
Ⅱ．新生物＜腫瘍＞				
0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
Ⅲ．血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
Ⅳ．内分泌，栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
Ⅴ．精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害＜精神遅滞＞	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅵ. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
Ⅸ. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
Ⅹ. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎〔かぜ〕＜感冒＞	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I．消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II．皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III．筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害＜損傷＞	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV．腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V．妊娠，分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠，分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI．周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII．先天奇形，変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形，変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII．症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX．損傷，中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I．健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II．特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		